

第五十回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十五號

大正十四年二月十九日(木曜日)

午前十時二十七分開議

議事日程 第十五號 大正十四年二月十九日

午前十時開議

第一 大正十四年度歳入歳出總豫算案並大正十四年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件  
第二 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件

第三 一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法廢止法律案

(政府提出)  
(衆議院送付)

第四 教育改善及農村振興基金特別會計法案(政府提出)

第五 公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案

(政府提出)  
(衆議院送付)

第六 朝鮮鐵道用品資金會計法案(政府提出)

第七 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

第八 裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

第九 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

[瀨古書記官朗讀]

昨十八日豫算委員長ヨリ橋本辰二郎君ヲ第一分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日會計検査院法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ

氏名左ノ如シ

委員長 侯爵松平 康 莊君 副委員長 横山 章君

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第五回報告書

本日第四部ニ於テ決算委員橋本辰二郎君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果原保太郎君當選セリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、大正十四年度歳入歳出總豫算案並大正十四年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件、第二、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件、是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、藤山雷太君

[藤山雷太君演壇ニ登ル]

○藤山雷太君 私ハ今日ハ此豫算ノ實行監督ノ制度ヲ是非設立スルノ必要ヲ感ジテ居リマス、其點ニ付キマシテ總理大臣並ニ大藏大臣ノ御意見ヲ承テ見タイト考ヘマス、私ハ此問題ニ對シマシテハ、昨年ノ臨時議會ノ際ニ、豫算委員會ニ於テ質問ヲ致シマシタ、其後ノ實行ノ經過ハ如何ニナツテ居ラウカト云フコトヲ御尋ネ致シタイト考ヘルノデアリマス、私ハ豫算委員會ニ於テ、今回ノ行政財政ノ整理ハ非常ニ必要デアアル、併ナガラ是ト關聯イタシマシテ、此豫算ノ事前監督ノ方法ヲ設ケナケレバイカナイト考ヘルノデアアル、即チ豫算ノ濫費ヲ防イデ支出ノ經濟的ナラシムルコトガ、此場合ニ最モ必要ヂヤナイカト云フコトヲ述ベタノデアリマス、蓋シ此豫算ノ決定ニ當リマシテハ、帝國議會ノ協賛ヲ必要ト致シテアリマス、併ナガラ一タビ帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ、各省ノ手ニ此豫算ガ渡リマスルト、何等有效ナル監督ノ機關モ無ク、又検査モ十分ニ行ハレテ居ナイヤウニ考ヘルノデアリマス、成程、今日會計検査院ノ制度ハアリマスルケレドモ、其會計検査院ノ検査ハ事後ノ監督ニアリマシテ、其事柄ハ濟ンデ仕舞ツタ後ニ其支出ヲ検査スルト云フコトニナツテ居リマス、從テ其支出ガ果シテ正當ヲ得ナカッタト申シマシテモ、ソレハ唯其非違ヲ糾彈イタシマスルニ止マリマシテ、其時ハ既ニ其事柄ハ結了イタシテ居リマス、殊ニ屢、内閣ガ更ハルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其問題

ハ既ニ前内閣ノ問題デアル、或ハ前々内閣ハ問題デアルト云フコトニナリマシテ、何等之ニ對シテ十分ナ責任ヲ問フ途ガ無イヤウナ次第デアルト思ヒマス、私ハ、ソレ故ニ、豫算ノ實行ヲシテ十分經濟的ナラシメ、眞ニ緊縮節約ノ趣旨ニ合致セシムル爲ニハ、ドウシテモ此豫算ノ實行ノ場合、即チ事前ノ監督ト云フ機關ガ最も必要チヤナイカト云フコトヲ御尋ヲ申シタノデアリマス、然ルニ此場合、加藤首相ハ其質問ニ對シマシテ、同感デアル、賛成デアル、ドウシテモ其事柄ハ必要ト考ヘルカラ、會計検査院ヲシテ之ニ當ラシムルカ、或ハ他ノ機關ヲ設置スルカ、十分調査ヲスル積リデアルト云フ御答ヲ得マシテ、私ハ非常ニ満足ヲ致シテ居リマス、併ナガラ今日マデノ經過ハ如何ニナツテ居リマスルカ、果シテサウ云フ機關ヲ、此議會ニモ提出シテ、法律案カ何カデ御拵ヘニナル運ビニナツテ居リマスルカ、其點ヲ承リタイト考ヘマス、今回ノ一體財政整理ハ、私ハ非常ニ大藏大臣ハ勉強ナサツタト云フコトハ認メマスルガ、其結果ハ甚ダ不十分デアル、不徹底デアルト云フコトハ申上ゲテ宜カラウト存ジマス、十六億圓ノ前年ノ豫算ヲ今年十五億圓内外ニ減ジテ、併ナガラ今後追加豫算トシテ……此點ハ又政府ガ來年度ニ於テ支出ノ殆ド豫約的ノ御話ヲ承リマスルト、ナカノ豫算ハ是ヨリ膨脹スルニ相違ナイト考ヘラレマス、其結果ハ恐ラクハ十六億圓以上ニ達スルダラウト思ヒマス、斯カル多額ノ負擔ヲ國民ハ受ケテ、サウシテ納稅ノ義務ヲ正當ニ支出シテ居ルト云フコトハ、餘程困難ナ事ダラウト思ヒマス、ソレ故ニ財政整理ハ單ニ豫算面ノ金額ヲ唯緊縮スルバカリデヤナク、其緊縮セラレタ豫算ノ實行ヲシテ有效ニ且ツ其支出ハ經濟的ナラムコトハ、此場合緊要ナリト考ヘマス、然ルニ豫算ノ實行ニ付キマシテ、從來遺憾ナル點ガ甚ダ多イノデアリマス、即チ一面、豫算ノ收入ヲ圖ル場合ニ於キマシテ、苛斂誅求、ト云フコトハ酷デアアルカハ知リマセヌガ、査定ヲ要スル徵稅ノ問題ニナリマスルト頗ル峻嚴ニ取立テマス、而シテ其租稅ハ少クトモ豫算額以上ニ取立テナケレバナラヌト云フコトヲ努メテ居ルヤウニ見エマス、而シテソレハ自然增收デアアル、決シテ苛斂誅求ニ起ツタ增收デヤナクシテ、自然增收デアアルト云フヤウナ名ガ付イテアリマス、而シテ甚スキニ至ツテハ、豫算以上ノ徵稅ヲシ能フ所ノ收稅吏員ニ向ツテハ、非常ナ能吏トシテ之ヲ賞セラル、ト云フヤウナ形ガアルヤウニ見エマス、又他面支出ノ側ヲ見テ見マスレバ、豫算面金額ヲ是非トモ其年度ニ使フコトヲ普通ノヤウニ考ヘラレテ居ルヤウニ考ヘマス、ソレ故

ニ今日ハ隨分豫算ノ濫費ガ行ハレテ居ヤシナイカト考ヘマス、私ハ今日此官吏ノ俸給ト云フモノハ物價ニ比較シマシテ非常ニ安イ、低イト私ハ考ヘル、上ハ總理大臣ヨリ、下ハ小使ノ末ニ至リマスマデ、今日ノ物價ノ割合カラ見マシテ、其受ケラル、所ノ報酬、即チ給料ト云フモノハ、私ハ甚ダ低イト思フ、一朝之ヲ民間ノ事業家、又ハ政府ノ特別ノ會社、或ハ特別銀行ナドノ重役其他ノ人ト比較シテ見マス、非常ニ其受クル所ノ報酬ハ低イヤウニ思ヒマス、從テ私ハ其官界ニ集マル人ハ、今後ハ能率ノ低イ人ガ集マリハシナイカト考ヘマス、其點カラ考ヘマシテ、私ナドハ此財政ヲ緊縮スルト云フヤウナ場合ニ於テハ、官吏ヲシテ緊張ノ精神ヲ持タシムル爲ニ、其給料ノ如キハ十分ニ是ハ優遇シテ、自己ノ生活ヲ支ヘテ、サウシテ十分ニ國家ノ公務ニ服スルダケノ給料ヲ與ヘナケレバナラヌト考ヘル、其點カラ考ヘマス、私ハ今後モ能率ヲ増進セシメヤウトスレバ、其與フル所ノ官吏ノ俸給ハ、尙ホ此物價ニ比較シ、民間其他特殊銀行ナドノ比較ヲ取ツテ、相當給料ヲ上ゲナケレバ、緊張シタ能力ヲ出サセルコトハ出來ナイモノデアラウト考ヘルノデアリマス、然ルニ過日、總理大臣ハ人ノ淘汰ハ是デ打切リ積リデアルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハソノ人ヲ淘汰スル、ト云フコトハ語弊ガアルヤウデアリマスガ、仕事ヲ、五人ノ仕事ヲ三人ニ分ツテ與ヘル時分ニハ、五人ニ與ヘル給料ヲ三人ニ與ヘテモ私ハ差支ナイ、給料ヲ減額スル必要ハナイト思フ、サウシナケレバ實際立派ナ人が官界ニ集マツテ能率ヲ發揮スルコトガ出來ナイヤウニ思フノデアリマス、故ニ私ハ今後政府ニ於テモ、人ヲ減ズルト云フコトハ十分ニ御斷行ニナツテ、其給料ハ十分ニ一ツ支給スル途ヲ御執リニナラナケレバ、能率ヲ増シ事務ヲ簡捷ニシ、而シテ十分ナ成績ヲ擧ゲルコトハ出來ナイヤウニ考ヘマス、今日ノ情勢デ見マスルト、人ヲ多數御減ラシニナリマシタガ、殘ツタ人ハ何等、仕事ガ加ハッタノミデ其受クル所ハ同ジ報酬デアアル、是ハ人間自然ノ衷情トシテ、十分ナ緊張ヲ缺クト云フコトハ、已ムヲ得ナイモノデアラウカト、私ハ考ヘルノデアリマス、ソレ故、一面、十分ニ此豫算ノ實行ヲ嚴密ニシテ、サウシテ旅費ヲ以テ給料ノ低キヲ補ツテ見タリ、其他支出ノ適正ヲ缺ク方法ヲ以テ給料ノ少イ等ヲ補助シテヤルト云フヤウナ方法ヲ避ケテ、給料ノ如キハ、即チ物價ニ順應シタル給料ヲ以テ俸給ヲ定メルト云フコトガ、今日最も必要デハナイカト考ヘマス、ソレ故、旅費ノ豫算ガ殘レバ年末ニナリマスルト、其費用ヲ支出スル爲ニ、無暗ニ官吏ヲ出張サセル

ト云フヤウナコトガアルヤウニ世間ニ傳ヘラレルノデアリマス、又年末ニナ  
リマシテ俸給ガ豫算額ヨリ殘レバ、其金ヲ賞與金トシテ出スト云フヤウナコ  
トモ聞キマシタガ、是等ハ即チ豫算ノ濫出チヤナイカト私ハ考ヘル、一面ニ  
給料ヲ増加スルト云フ方針ヲ執ルト同時ニ、此豫算ノ支出ニ對シテハ嚴正ニ  
ヤラナケレバナラヌコトト考ヘルノデアリマス、併ナガラ斯ウ云フコトニナ  
リマスルノハ、即チ此豫算ノ分割競争ノ結果デハナイカト考ヘルノデアリマ  
ス、各省共ニ大藏省デ豫算ヲ取ル時ニハ非常ニ色々交渉ヲ重ネテ御取リニナ  
リマス、其御取リニナツタ豫算ニ剩餘ガ生ズレバ、再ビ之ヲ大藏省ニ返サナケ  
レバナラヌ、其場合ハ亦翌年モ同ジ豫算額ヲ要求スルト云フコトガ出來ナイ  
ト云フヤウナ考ヲ有チマシテ、其豫算ノ全部ハ其年度内ニドウ云フ方法デモ  
使ハナケレバナラヌト云フ一ツノ考ガ本トナツテ、斯ウ云フヤウナコトガ起  
テ來ヤシマイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故、此豫算ノ實行ヲ適  
正ナラシメテ、濫費浪費ヲ防グ爲ニハ、ドウシテモ其實行ノ前ニ、事前監督  
ト云フ機關ヲ用ユルト云フコトガ、最モ必要デハナイカト考ヘテ居ルノデア  
リマス、最近私ヲシテ豫算事前監督ノ最モ必要ヲ感ゼシメタノハ、即チ朝鮮  
國有鐵道咸鏡道線施行ノ問題デアルノデ、承リマスレバ、十四年度ノ豫算ヲ  
見マスルト、咸鏡道線ノ建設費トシテ五百四十萬圓ヲ要求シタ、其内二百四  
十萬圓ハ大正十三年度ニ於テ既ニ施行済ニナツテ居ルト云フコトデアリマス、  
若シ果シテサウデアリマスレバ、是ハ豫算ナキニ拘ラズ、工事ヲ施行シテ、其  
工費ヲ支出シテ、又前年度ニ於テ支出シタモノヲ翌年度ノ建設費トシテ要求  
スルコトニナルノデアリマスカラ、是ハ實際ニ於テハ已ムヲ得ナイ事柄デア  
テ、サウシナケレバナラヌカモ知レマセヌ、併ナガラ斯ノ如キハ此豫算ト云フ  
モノヲ以テ仕事ヲスルト云フ豫算ノ實行ガ放漫濫費ニ流レルニ止ラズ、私ハ  
豫算制度ヲ是ハ破壊スルヤウナ處置チヤナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリ  
マス、之ヲ事後ニ於テ糾弾イタシテモ、モウ支出済トナツテ施行ハ終ツテ居ル  
コトデアリマスルカラ、何トモシヨウガナイ、而シテ其責任ヲ問ハムトスル  
場合ニ於テハ是ハ前内閣ノ責任デアアル、或ハ前々内閣ノ責任デアアルト云フヤ  
ウナコトデ、詰リ何等ノ效果ヲ生ジナイノデアリマス、斯ウ云フコトハ即チ此  
事前監督ノ制度ガ十分ニ行ハレナイ結果チヤナイカト考ヘマスルノデアリマ  
ス、我國ニ於テハ、此通り豫算ノ實行ヲ監督シナイデ其儘ニナツテ居リマスル  
ガ、海外諸國ノ實際ヲ見マスルト、私ハ英國ヲ初トシテ伊太利、白耳義、佛

蘭西デモ、和蘭デモ皆會計事前監督ノ機關ト云フモノガアツテ、嚴重ニ事前  
ノ監査ヲ行ツテ、決算ノ検査ト相俟ツテ、豫算實行ノ適正ヲ期シテ居ルノデア  
リマス、私ガ申スマデモアリマセヌガ、英國ニ於テハ二段ノ事前監督制度ガ  
採用サレテ居リマス、即チ第一段トシテ支出ノ原因タルベキ行為ノ審査ヲヤ  
ルノデアリマス、第二段ハ實際ニ於テ支拂ガ適正ニ行ハレテ居ルカト云フコ  
トノ審査ヲヤルノデアリマス、總テ支出ノ原因トナルベキ行政行為ハ大藏大  
臣ヲ中心トスル大藏委員ノ審査ヲ受ケルト云フコトニナリマシテ、之ヲ通過  
シタ後、支拂請求ヲナス場合ニ、會計検査院ノ即チ審査ヲ必要トスルト云フ  
コトニナツテ居リマシテ、假令豫算ニ計上セラレタ金額ト雖モ、僅ナ金額ト  
雖モ、其手數ヲ經ナケレバ支出ガ出來ナイコトニナツテ居リマス、又伊太  
利ニ於テハ會計検査院ヲシテ矢張り二重ノ事前監督法ヲ行ハセテ居リマス、  
其他、佛蘭西、白耳義、和蘭、制度ハ多少違ヒマスケレドモ、何レモ豫算  
ノ實行ノ上ニ於テハ相當ノ監督機關ヲ用キテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマ  
ス、我國ノ如キ一タビ豫算ガ議會ノ協贊ヲ經タ後ハ各省ノ自由ニ放任シ  
テ、勝手ニ支拂ヲ行ハセテ顧ミナイヤウナ例ハ、殆ド他ニ私ハ存シナイヤウ  
ニ考ヘル、私ハ我國ニ於テ豫算實行ガ動モスレバ放漫ニ流レ、支出濫費ガ行  
ハレマスル傾向ノアルノハ、一ツハ此制度ノ無イ罪デハナイカト考ヘルノデ  
アリマス、制度ノ不備缺陷、即チ事前監督機關ノ存セザル爲デアルト私ハ考  
ヘテ居ルノデアリマス、事情ハ右ノ如クデアリマスルガ、米國ニ於キマシテ  
ハ、尙ホ一層此豫算ガ實際ニ最モ經濟的ニ行ハレルヤウナ方法ガ採ラレテ居  
ルノデアリマス、「ゼネラルドース」氏ガ豫算局長トナツテ、財政ノ整理ニ銳意  
努力イタシタト云フコトハ、皆是ハ承知シテ居ルコトデアリマスルガ、其米國  
ノ歳出豫算ヲ調べテ見マスルト、千九百二十一年ニハ米國ノ豫算總支出ト云  
フモノハ四十四億七千萬弗デアッタノデアリマス、四十四億七千萬弗ヲ豫算  
局長タル「ドース」氏ハ三十九億九千萬弗ニ豫算ヲ減ジテ居リマス、即チ五億  
弗ヲ減ジテ居ル、然ルニ其當時ノ歳計現計ヲ見テ見マスルト、三十三億六千  
萬弗、即チ實行支出ノ上ニ於テ六億三千萬弗ヲ減ジテ居リマス、即チ千九百  
二十二年ハ豫算デ五億減ジ、實行豫算デ六億ヲ減ジテ、亞米利加ノ總豫算ノ  
中カラ前年度ニ比シテ十一億弗幾ラデゴザイマスカラ日本ノ二十五億萬圓バ  
カリノ節減ヲヤツテ居リマス、ソレカラ千九百二十三年ニ於テ豫算ガ三十五  
億弗ニ對シマシテ、歳計ハ三十二億九千萬弗、即チ此實行豫算ニ於キマシテ

二億一千萬弗ヲ節約イタシテ居ルノデアリマス、ソレカラ千九百二十四年ニハ段々減ツテ居リマスケレドモ、尙ホ五千八百萬弗ヲ節約イタシテ居リマス、斯ウ云フ風ニ漸次ニ此實行豫算ヲ十分ニ監督シ、又經濟的ニ支出シタ爲ニ、非常ニ亞米利加ハ政府ノ豫算ヲ減ズルコトガ出來テ居ルノデアリマス、併シ此「ドース」氏ガ前述ノ如ク歳出豫算額ヲ減ズルコトガ出來タト云フノハ、私ハ他ニ一ツノ理由ガアル、即チ此豫算實行ノ統一機關ヲ設ケテ居ルコトデアリハシナイカト考ヘテ居リマス、此處ニ米國ニ於ケル該制度ヲ詳シク述ベル必要ハゴザイマセズガ、其效果ノ多大ナルコトハ當局諸公ノ十分ナル考慮ヲ煩ハシタイト考ヘル、即チ此豫算實行統一機關トシテ、聯邦購買局ト云フモノヲ設ケテ居ル、ソレカラ又聯邦拂下局ヲ設ケテ居リマス、聯邦運輸局ヲ設ケテ居リマス、契約及整理局ヲ設ケテ居リマス、地方協調局ヲ設ケテ居リマス、サウシテ政府ノ要品ハ共同シテ、統一シテ買入レル、總テノ物ヲ一緒ニ集メテ買入レル、拂下品モ總テ同様ニ統一シテ拂下ゲテ居ル、又其物ヲ運送シマスル輸送機關モハ一シニ纏メテ一緒ニ運送シテ持ッテ來ルト云フヤウナコトデ、總テ實行スル場合ニ不經濟ヲ除イテ、サウシテ能率増進ヲシテ居リマス、其統一機關ハ大統領ノ直轄ノ豫算局長ノ監督ノ下ニ立ッテヤッテ居リマス、即チ豫算局長ガ各省ノ品物ヲ買フ物モ拂下ゲル物モ、其他ノ物モ一緒ニ集メテ之ヲヤッテ居ルト云フコトニナッテ居リマスカラ、不正非違ヲ防止スルコトモ十分ニ出來、又ソレヲ監督シテ、サウシテ其檢査ヲシマスルノニモ、非常ナ便利ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ此機關ヲ設クル爲ニ僅ニ十萬弗位ノ費用ヲ掛ケテ居ル、各省ニアリマスル所ノ購買係或ハ拂下ヲスル役人ヲ即チ中央ノ豫算部ニ集メテ、其仕事ヲサセルト云フコトニナッテ居リマスカラ、其費用ハ餘リ餘計ニ掛カッテ居ラナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、私ハ我が帝國ノ經濟モ十六億以上ニナッテ居リマシテ、各省ニ於テ品物ヲ買フコトモ、或ハ拂下ゲルコトモ、其他銘々勝手ニオヤリナサルノヲ、之ヲ統一シテ購買ヲシ、拂下ヲシタナラバ、非常ニ經濟的ニ行ハレハシナイカト考ヘルノデアリマス、政府ハ果シテサウ云フコトモヤル御考デ、此監督機關竝ニ豫算ヲ經濟的ニ行フ方法ヲ御考究ニナッテ居リマスカ、其點ヲ御尋ネ申上ゲタイト考ヘルノデアリマス、御承知ノ通り我國ノ財界ハ實ニ萎靡不振、産業モ實ニヒドイ有様デアリマス、デ、此場合ニ於テ國民ノ膏血ヲ絞ッテ徵稅サレタ所ノ此國費ト云フモノハ一厘一毛ノ微ト雖モ、濫費ヲシナイヤウニシ

テ貫ヒタイト考ヘルノデアリマス、眞ニ國家ノ存立發展ノ爲ニ、又國民ノ福利増進ノ爲ニ、有效ニ且ツ經濟的ニ此國費ハ使用サレテ居ルコトノ保障ヲ得ナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、此意味カラシマシテ、會計事前ノ監督檢査ノ確立ト云フコトガ、此場合ニ最モ必要デナイカト私ハ考ヘマス、財政整理ハ現内閣ノ標榜デアリマシテ、國民ハ之ニ共鳴ヲ致シテ居リマス、ソレハ即チ負擔ノ輕減ヲ切望スル爲デアラウト私ハ考ヘテ居ル、從テ財政整理ノ前途ハ尙ホ遠遠デ、其徹底的ヲ期スル上ヨリ申上ゲマシテモ、此豫算ノ實行、ソレカラ事前ノ檢査ト云フモノハ極メテ重要ナルモノト考ヘマス、現内閣ハ又綱紀ノ肅正ト云フコトヲ第三ノ政綱中ニ御掲ゲニナッテ居リマスルガ、此綱紀肅正ト云フコトヲ圖ル上カラモ此制度ノ確立ト云フコトハ最モ必要デヤナイカト考ヘマス、ドウカ速ニ此制度ノ確立ヲ希望シ、又昨年、私ガ御尋ネ申シマシテ以來、此問題ハ如何ニ御取扱ニナッテ、此議會ニハ其問題ノ解決ヲ御努メニナルデアラウト云フコトヲ、總理大臣竝ニ大藏大臣ニ御尋ネシタ次第デアリマス、尙ホ私ハ此問題トハ少シ離レタ問題デアリマスガ、外務大臣ニ一應御尋ヲ致シタイト考ヘマスルノハ、本月八日ニ起リマシタ上海ノ紡績會社ニ起ッタ暴動……寧ロ「ストライキ」デヤナイ、暴動ト云フ情勢ニマデ陥ッテ居リマスガ、私ガ昨今接手シタ情報ニ依リマスルト、是ハ非常ニ甚大ナル問題デヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、此儘デ打チャッテ置ケバ何時終熄スルカモ知レマセズ、又其寧ロ暴動的ノ「ストライキ」ノ因ッテ生ジタ原因ハ那ノ點ニ在ルカ、又我が外務省ハ此問題ヲ如何ニ現在御取扱ニナリ、御調査ニナッテ居リマスカ、御尋ヲ致シタイト考ヘマス、是ハ私ハ前ニモ申上ゲマシタ通り、我々ハ海外企業ト云フコトハ今後最モ必要ナル、我々ノ努ムベキ仕事ダト考ヘル、デ、海外事業トシテハ現在ニ於キマシテハ、支那ト南洋方面ニ我我同胞ガヤッテ居ルノニ過ギナイノデアリマス、其海外企業デ最モ大事ナル紡績事業……上海ニ於ケル紡績事業ガ斯ウ云フ風ナコトデ屢々迷惑ヲ受ケルヤウナコトニナリマスルト、邦人ノ海外企業ノ精神ノ上ニ非常ナ打撃ヲ與ヘ、將來如何ナルコトニナラウカト心配イタシマスノデアリマス、此點ニ付キマシテ外務大臣ハ情報ヲ十分御受取りニナッテ居ルコトト存ジマスカラ、此暴動的「ストライキ」ノ原因、竝ニ今後ドウ云フ御考ヲ以テナサレルカ、私ハ是ハ我々ノ海外企業ノ精神ノ上ニ非常ナル打撃ヲ與ヘルモノト考ヘマス、屢々斯ウ云フコトガ起リマスノハ甚ダ遺憾ニ考ヘマスカラ、此點ヲ外務

大臣ニ御尋ネ致シマス

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 唯今、御尋ノ會計ノ事前監督ト申スコトハ至極宜シカラウト云フコトヲ昨年モ申上ゲタノデアリマスガ、是ノ方法ハ可ナリムヅカシイノデアリマス、外國ノ例ナドヲ藤山君ハ御引用ニナリマシタガ、政府ニ於テモ相當ナル材料モ持ッテ居リマスガ、是マデ嘗テ我國ニ於テハ無イコトデアリマスルカラ、斯ノ如キ新制ヲ設ケルコトニ付テノ手數、費用、效果等ニ付テハ深く考慮ヲ下サナケレバナラヌ次第デアリマス、政府ニ於キマシテハ委員ヲ設ケテ唯今取調中デアリマス、併シ其委員カラマダ調査ノ結果ニ對シテ報告ヲ得マセスカラ、今日如何ナル程度マデ調査ガ行ッテ居ルカト云フコトヲ當席カラ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、今期議會ニ於テ斯ノ如キ案ガ提出サレルヤ否ヤト云フ御尋デアリマシタガ、未ダ提出スルヤ否ヤト云フコトモ右ノ様ナ次第第一向極マッテ居リマセシ、從テ今期議會ニ提出スルト云フコトモ無論申上ゲラレナイノデアリマスガ、恐ラク今期議會ニハ提出ニハナリマスマイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、其他ノ事ニ關シテ色々御述べニナリマシタガ、主タルコトハ事前ノ監督ニ付テノ政府ノ考ハドウカ、又調査デモシテ居ルナラバ、ドウ云フ經過ニナッテ居ルカト云フ事ガ主要デアッタト思ヒマスカラ、ソレダケノコトヲ御答へ申上ゲマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 會計ノ事前監督ノコトニ付テ、其後ノ經過ヲ御尋ネニナリマシタ、而シテ會計ノ事前監督ヲ速ニ實行スル必要ヲ證明セラル、ガ爲ニ、幾多ノ事例ヲ御引キニナリマシテ、藤山君ハ其事例ヲ悉ク政府ノ濫費デアルト云フヤウニ御話ガアリマシタ、斯ノ如キ濫費ガアル故ニ、速ニ會計ノ事前監督ヲ行フノ制度ヲ設ケナケレバナラヌト云フ御趣意デアッタヤウデアリマス、事前監督ノ其後ノ經過ニ付キマシテハ、唯今、總理大臣ヨリ答辯ヲサレマシタ通りデアリマシテ、今日ハ委員ヲ設ケテ調査中デアリマスルガ、マダ其委員ニ於テハ成案ヲ得マセヌノ報告ニ接シテ居リマセヌ、事前監督ト云フコトハ、果シテ今日ノ我國ノ行政ノ組織ニ於テ可能デアルヤ否ヤ、又可能ナリトシタ所デ、ソレガ適當ナリヤ否ヤ、其事前ノ監督ヲ行フベキ時期ハ何時ガ宜シイカ、又政府ガ或ハ命令ヲ發シ、或ハ契約ヲ締結スル時ガ宜シイカ、若クハ命令契約ノ時期ニアラズシテ、支拂命令ヲ發スル時期ガ

適當デアるかト云フコトモ、一ツノ調査スベキ問題デアラウト思ヒマス、又其事前監督ヲ行フ所ノ機關ハ何ガ宜シイカ、今日ノ會計検査院ガ宜シイカ、或ハ會計検査院以外ニ政府ノ行政部内ニ於テ何カ獨立ノ機關ヲ設ケルガ宜シイカ、其獨立ノ機關ヲ設ケル場合ニ於テ、其仕事ニ從事スベキ所ノ官吏ノ身分ハ、之ヲ如何ニスベキヤト云フ如キコトハ、何レモ唯今、委員會ニ於テ調査シテ居ル事項デアリマス、又唯今御述べニナリマシタ通り、外國ニ於テ事前監督ノ例ガアリマス、アリマスガ、其外國ニ於ケル所ノ事前監督ノ成績ハ如何、其事前監督ヲ行フガ爲ニ各行政官廳ノ責任觀念ニ及ボス影響ハドウデアるかト云フ如キコトモ、今日ノ所デハマダ詳細ニ分ッテ居リマセヌ、從テ是等各般ノ事項ニ互ッテ調査ヲ致ス必要ガアリマス、唯今調査中デアルコトハ申上ゲタ通りデアリマス、事前監督ヲ必要トスル理由ニ付キマシテ種々ノ事柄ヲ御述べニナリマシタ、是ハ藤山君ガ一ツノ例トシテ御舉ゲニナリマシタカラ、ソレニ對シテ一々御答ヲ致ス必要ハ或ハ無イカモ知レマセヌ、併ナガラ其事柄ガ多少事實ニ相違ヲ致シテ居ルト認ムル點ガアリマスニ依ッテ、其點ニノミ付テ、私ハ政府ノ所見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、又申上ゲルコトガ此場合必要デアルト考ヘマス、第一ニ御述べニナリマシタノハ、此度ノ行政整理ノ成績ニ付テ、之ヲ不徹底ナリト論斷ヲサレマシタ、ソレハ御意見デアリマスカラ、之ニ對シテ私ハ何等ノコトヲ申上ゲマセヌ、唯十四年度ノ總豫算ハ十五億二千四百萬圓デアるかレドモ、マダ追加豫算ガ出ル筈ニ依ッテ、彼レ此レ合計ヲスルト云フト、大正十四年度ノ豫算ハ恐ラクハ十六億圓以上ニ達スルデアラウト云フコトヲ申サレマシタガ、是ハ明カニ事實トハ違ッテ居マス、總豫算ハ十五億二千四百萬圓デアリマシテ、追加豫算ハ唯今調査中デアリマスカラ、果シテドレ位ノ金額ニ達スルカト云フコトハ、唯今責任ヲ以テハキリトハ申上ゲラレヌケレドモ、十六億圓ト云フ如キ大數ニ達スルコトハ決シテアリマセヌ、ソレカラ苛斂誅求ヲ行フ、稅務署ノ官吏ガ豫算以上ノ徵稅ヲスル、其豫算以上ニ多クノ税金ヲ取ル者ヲ能吏ト稱シテ之ヲ稱讚ヲスルト云フ如キ意味ノ御話ガアリマシタガ、政府ハ左様ナルコトハ決シテナイト思ヒマス、豫算ハ即チ豫算デアリマスルガ、其豫算ニ舉ゲタル所ノ稅額以上ノモノヲ徵稅ヲシナケレバナラヌト云フ理由ハ少シモアリマセヌ、サウ云フ必要モ決シテアリマセヌ、又豫算ニ掲ゲテアリマス所ノ金額デモ、實際ノ事情ノ爲ニ、豫算ダケノ金額ガ取レナイト云フ場合ニ於テハ、強ヒテ

豫算ニ達セシムルガ爲ニ、所謂苛斂誅求ヲ行フト云フガ如キ考ハ少シモ有ツテ居リマセヌ、其次ニハ官吏ノ賞與、是ハ國帑ノ濫費デアルト云フ如キ御意見デアッタヤウデアリマス、俸給ガ餘ツタガ故ニ、其餘ツタモノハドウシテモ使ハナケレバナラヌ、ソレガ即チ官吏ノ賞與トナツテ現ハレル、ト云フ如キ意味ヲ以テ御話シニナリマシタナラバ、ソレハ明カニ事實ニ違ツテ居リマス、官吏ノ賞與ハ俸給ノ殘額カラ支給ヲ致シマスケレドモ、此官吏ノ賞與ナルモノハ其人々ノ勤勞ノ程度ニ依リマシテ、種々ナル所ノ階級ヲ設ケテアリマス、格別ニ勉勵シタ者ニ對シマシテハ、相當ノ賞與ヲ致シマスケレドモ、其勤勞ノ程度ニ依ツテ、絶對ニ賞與ヲ出サナイモノモアリマス、要スルニ此官吏ノ賞與ハ其人ノ勤勞ノ程度ニ比例シテ支給スルモノデアリマシテ、俸給ガ餘ツタ故ヲ以テ支給シテ居ルノデアリマセヌ、又豫算ニ取ツテアル所ノ總テノ費目ガ、各省割據主義ノ爲ニ殘ラズ使ハレテシマフト云フ如ク御考ヘニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、サウ云フコトハアリマセヌ、ソレハ毎年度ノ決算ヲ御覽ニナリマスレバ、歳入ニ於テ豫算ニ超過シタルモノガ剩餘金ニナリ、歳出ニ於テ不用ニ歸シタルモノガ事實歳出ノ方面ニ於ケル剩餘金トナリマス、剩餘金ハ歳入ノ方面カラモ歳出ノ方面カラモ兩方カラ出テ來マス、從テ歳出豫算ハ殘ラズ之ヲ使ツテシマフト云フガ如キ間違タル考ハ今日有ツテ居リマセヌ、ソレカラ國費ヲ濫費スル例トシテ、朝鮮ノ咸鏡線ノコトヲ御舉ゲニナリマシタ、此事柄ハ政府ノ見ル所ニ依リマスレバ、決シテ國帑ノ濫費デモ何デモナイノデアリマス、御承知ノ通り咸鏡線ハ數年ニ互ル所ノ繼續費デアリマシテ、既ニ過去ニ於テ議會ノ協賛ヲ經テ居リマス、而シテ是ガ建設ノ工事ハ、朝鮮總督府ヨリ致シマシテ、滿鐵會社ニ委託シテアリマス、其委託ハ無論數年ニ互ツテ居リマス、其委託ヲ受ケテ建設工事ヲ致シテ居リマス所ノ滿鐵會社ガ、工事ノ都合ニ依ツテ偶、十四年度ノ豫定計畫ニ屬スルモノヲ十三年度ノ内ニ一部工事ヲ進捗セシメタト云フダケデアリマス、併ナガラ元來、其工事ニ對スル所ノ經費ハ、大正十四年度ノ年割額ニ屬スルモノデアリマスガ故ニ、十三年度ニ於テ之ヲ支出ヲ致シタコトハナイノデアリマス、從テ是ハ濫費デモ何デモアリマセヌ、若シ濫費ノ例トシテ、此咸鏡線ノ問題ヲ御考ヘニナツテ居ルナラバ、ソレハ明カニ御考違ヒデアラウト思ヒマス、其次ニハ米國財政整理ノ實例ヲ御舉ゲニナリマシテ、或ハ營繕ノ工事或ハ用度ノ如キモノヲ、中央ニ於テ一ツノ官廳ヲ設ケテ總テ統一シテ、建築ヲヤリ、物品ノ購買ヲ行ツテ

居ルガ爲ニ、大分節約ニナツテ居ルト云フ如キ御話ガアリマシタ、此度十四年度ノ豫算ノ編成ニ當リマシテモ、其事ニ付テハ深く考慮ヲ拂ヒマシテ、出來得ベクンバ、今日ノ政府ノ營繕工事、並ニ重立ツタ所ノ用度品ノ購買ニ付テハ、中央ニ一部局ヲ設ケテ之ヲ統一ヲシタイト云フ考ヲ以テ、段々研究イタシマシタガ、是ハ新シイ所ノ試ミデアリマスルガ故ニ、一舉ニシテ直チニ其理想ヲ達スルコトハ困難デアラウト云フ考ヲ以テマシテ、先ヅ以テ大藏省ニ於テ營繕管財局ナル外局ヲ設ケマシテ、其外局ニ於テ東京府ト神奈川縣トニ於テ行ハル、所ノ各種ノ營繕工事、大藏省ノ所管ニ付テハ、全國ニ互ル所ノ營繕工事、是ダケノモノヲ從來ハ各省ニ於テ銘々行ツテ居リマシタモノヲ、此度ハ營繕管財局ニ於テ取纏メテ、其營繕工事ヲ行フト云フコトヲ決定イタシマシテ、之ヲ此度ノ豫算ニ現ハシテ居ル次第デアリマス、營繕工事ト申シマシテモ、大小ニ拘ラズ、苟クモ營繕工事デアル以上ハ如何ナル小サイ工事デモ、又陸海軍ノ機密ニ屬スル工事デモ、或ハ小破修繕ニ屬スル工事デモ、總テ營繕管財局ニ於テヤルト云フ譯デアリマセヌ、ソレニハ多少ノ例外ハアリマスケレドモ、原則トシテ先ヅ大體總テノ工事ヲ此中央ノ營繕管財局ニ於テ行フトコトニ豫算ヲ編成イタシテアルノデアリマス、用度ノコトニ付テモ段段研究イタシマシタガ、先ヅ營繕ノ工事カラ始メテ其成績ヲ見タ上ニ、物品ノ購買ヲモ此營繕管財局ニ纏メテヤルト云フコトハ後日ノ論議ニ致シテモ、敢テ遅クハアルマイト云フコトデ、此用度ノ方面ハ後廻シニ致シテアリマス、大體、藤山君ガ事前監督ヲ必要ナリトスル論據ニ對シマシテ、其事實ガ或ハ間違ツテ居リハセスカ、又政府ニ於テモ既ニ行ツテ居ルト云フコトヲ考ヘマシタ結果、此際、説明ヲ申上ケル必要ガアルト思ヒマシタ點ノミニ付テ、概略ノ説明ヲ申上ゲタ次第デアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 上海ノ紡績工場ニ於ケル「ストライキ」ノ問題ニ付キマシテ、藤山君ヨリノ御質問ニ御答辯ヲ申上ゲマス、私ガ大體記憶イタシテ居リマス所ニ依リマスレバ、上海及上海附近ニ於テ日本人其他各國人ノ經營イタシテ居ル紡績工場ハ概數約九十何萬鍾ト云フモノヲ運轉イタシテ居ルヤウニ記憶イタシテ居リマス、其中ノ六十何萬鍾ト云フモノガ日本人ノ經營ニ係ツテ居ルモノデアリマシテ、從テ此「ストライキ」ノ問題ナルモノハ極メテ我々ノ重要視イタシテ居ル問題デアリマス、唯今、藤山君ノ御話ニナ

リマシタ如ク、本月ノ八日、内外棉絲會社ノ工場ニ於キマシテ突然職工ガ、確カ職工ノ解僱ノコトカラ同盟罷工ヲ起シマシテ、是ガ段々ト外ノ日本人ノ經營イタシテ居ル工場ニ蔓延イタシマシテ、確カ日本人ガ現ニ經營シテ居ル工場ノ數ハ十カ十一カアリマスガ、其中ノ七箇所マデ蔓延イタシテ來タノデアリマス、而シテ段々此同盟罷工ガ暴動ノ性質ヲ有スルニ至リマシタ、日本人ノ中デモ傷害ヲ受ケル、身體ノ危害ヲ受ケル者モ生ズルニ至ッタコトハ、誠ニ遺憾千萬ノ話デアリマス、彼等ハ或ハ賃銀ノ引上ゲトカ、待遇ノ改善トカラ叫ンデ居リマスルケレドモ、日本ノ職工ヲ使用シテ居ル賃銀ハ、決シテ其他ノ工場デ使用シテ居ル職工ノ賃銀ヨリ廉イ譯デアリマセヌ、待遇ノ如キハ極メテ良イノデアリマス、從テ是等ノ口實ハ何等ノ意味ヲ成サヌノデアリマス、

彼等ガ振り撒イテ居リマスル宣傳ノ「ピラ」ヲ見マスルト云フト、最初ハ東洋ノ資本家ガ勞働者ヲ虐使スルト云フヤウナコトガ書イテアリマシタル所ガ、其東洋ノ「東」ト云フ字ダケヲ除イテ、削ッテ、「ピラ」ヲ振り撒イタノデアリマス、從テ今日ニ於キマシテハ日本ダケデハナイ、外國人全體ノ資本家ガ支那人勞働者ヲ虐使スル、斯ウ云フ風ナ口實ヲ持ツニ至ッタノデアリマスルカラ、此問題ハ大ニ致シマスルト云フト、日本ノ紡績工場ダケデハナイ、外國人ノ經營シテ居ル紡績工場ニマデモ波及イタス問題デアリマスカラ、列國共ニ此問題ノ成行ニハ深く注意ヲ拂ヒマシテ、出來ルダケ共ニ防止ノ手段ヲ執ッテ居ルノデアリマス、日本ノ關スル限リハ、若シ是等ノ暴動ガ益、ヒドクナルト云フ風ナコトガアッテ、日本人ノ生命財產ニ危害ヲ及ボスヤウナコトニ相成ッテハナリマセヌカラ、之ニ對シマシテハ適當ナル保護ノ手段ヲ執リツ、アリマス、又地方官憲ニ對シマシテモ、尙ホ北京ノ官憲ニ對シマシテモ、深甚ナル注意ヲ促シタノデアリマス、地方官憲ノ關シマスル限リハ、是モ今日ノ情況ニ於キマシテハ出來ルダケノ警戒ヲ加ヘテ居ルヤウデアリマス、又暴動ノ起リマシタ場所ハ上海ノ居留地デハアリマセヌケレドモ、上海ノ居留地ノ工部局ニ於キマシテモ此問題ノ進行ニ注意ヲ拂ヒマシテ、今日ハ警察官ヲ派遣シテ警戒ヲ致シテ居リマス、暴動ノ原因ニ至リマシテハ、先刻申シマシタル通り、彼等ハ賃銀ノ値上ゲトカ待遇ノ改善トカ云フコトヲ叫ンデ居リマスルケレドモ、是ハ全ク意味ガナイノデアリマシテ、其宣傳「ピラ」ヨリ見マスレバ、何カ他ニ意味ガアルヤウニ見エマス、是等ノ事情ニ付キマシテハ多少我々モ見當ハ有ッテ居ルノデアリマスルガ、今日ハ將來ノ取締ノ爲

ニ、我々今日付ケテ居リマスル見當、原因ニ付テハ……見當ヲ今日ハ暫ク茲デ明言イタスコトハ差控ヘル方ガ宜シカラウト存ジマス、何レニ致シマシテモ我々ハ此問題ノ進行ニ關シテハ深甚ナル注意ヲ拂ヒ、出來ルダケノ保護ノ手段ハ執ッテ居ルト云フコトダケヲ茲ニ御答辯申上ゲテ置キマス

○藤山雷太君 今事前監督ノ問題ニ付キマシテハ、總理大臣ハ兎ニ角調査ヲシテ、相當ノ處置ヲ執ルト云フ御答デアリマス、成ルタケ速ニサウ云フ方法ヲ御講ジ下サルコトヲ深く希望イタシマス、大藏大臣ノ御答辯中ニ、朝鮮ノ鐵道ノ問題ニ付テ私ガ述べマシタ場合ニ、是ハ濫費ノ證據トシテ舉ゲタヤウニ御話デアリマシタガ、ソレハ大藏大臣ノ或ハ御聽達デナカラウカト考ヘマス、私ハ此威鏡鐵道ノ建設費ハ繼續費デ出テ居リマスノデ、能ク承知シテ居リマスガ、必要ノ設備ト考ヘテ居リマス、唯其支出ノ方法ガ、若シ事前監督ガ能ク行ハレテ居リマシタラバ、已ムラ得ザル處置トシテ今日此豫算ニ計上シテアリマスモノガ、正當ニ出ス機會ガアッタデアラウト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、建設費ノ支出ノコトハ、既ニ是ハ繼續費デ、此鐵道ノ必要ヲ認メテ居リマスカラ、其點ニ付テハ濫費ト云フコトハ私ハ一切考ヘナイノデアリマス、併ナガラ唯、是ガ事前ニサウ云フコトヲ居ラレタナラバ、モット適正ナ方法ヲ以テ支出シ得タデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、

即チ私ハ今日ノ會計検査院ノ事後ノ検査ト云フモノハ餘リ用ヲ爲サナイ、寧ロモウ少シ早クサウ云フ事ヲ調査スル機關ガアッタ方ガ、即チ豫算ノ適正ナル實行ガ出來ハシナイカト云フコトノ例證ニ舉ゲタニ過ギナイノデアリマス、其他ノ問題ニ付キマシテハ、大藏大臣ハ決シテ苛斂誅求ノヤウナ事ハシテ居ナイ、私モ苛斂誅求ガ行ハレテ居ルトハ存ジマセヌガ、併ナガラ兎ニ角、此徵稅ノ上ニ於テ負擔ノ重イノニ國民ハ苦シンデ居ル場合デアリマスカラ、成ルタケ徵稅ニ付テハ御注意下サレムコトヲ希望イタシマス、併シ大藏大臣ハ我々ハサウ云フコトハ將來シナイ、又今マデモ無カッタト云フコトデアリマスカラ、其點ニ付テハ十分ニ私ハ満足ヲ致シマス、是デ私ハ……

○志水小一郎君 總理大臣ニ御尋ヲ致シマス、貴族院令ノ改革ニ付テデアリマス、私ノ御尋ハ稍ハ皮肉ノヤウニモ聞エマスガ、決シテ好ンデ皮肉ヲ言フノデアリマセヌ、又先日爲サレマシタ永田秀次郎君ノ御尋ノヤウナ所モアリマスガ、大キニ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、質問ノ進行ニ依ッテ御

〔志水小一郎君演壇ニ登ル〕

承知ヲ願ヒタウゴザイマス、先ヅ御尋ネ致シタイノハ總理大臣ハ一面政黨ノ首領デアラセラレマス、就テハ政黨又ハ之ト行動ヲ共ニスル所ノ政府與黨ノ行動ニ付テモ亦事柄ニ依ッテハ無論責任ヲ負ハル、御覺悟デアリマセウカ、其責任ト申スノハ廣イ意義ノ責任ノ意義デアリマス、政治道德ナド通常申シマス、其ノ範圍内ニ付テ申スノデアリマス、他人ノ行爲ニ依ッテ得ル所アルモノハ失フ所モアルノハ當然デアルト考ヘテ居リマス、如何デゴザイマセウカ、現内閣ニハ他ニモ政黨ヲ提ゲタル状態ニテ御入閣ニナリ居ル方々モアラセラレルノデアリマス、此方々ニ付テモ亦同様ノ疑問ガアリマス、是ガ第一問デアリマス、此様ナ御尋ガ十項バカリアリマスガ、何卒御記憶ヲ願ヒタイノデアリマス、御記憶ニ難ケレバ幾度デモ宜シウゴザイマス、反覆シテ申上ゲマス、一昨日デアリマシタカ、池田男ト首相トノ間ニ繰返サレタルガ如キ御問答中ニハ少シク不可解ナ點モ有リマス、併ナガラ態ト御尋ネ致シマセウカ、次ニ貴族院令改革ニ付テ、是マデ永イ年月ノ間ニハ時ニ其問題モ起ラザリシニモアラズト雖モ、其聲ノ突然ニ高クナリマシタルノハ清浦内閣ノ組閣成リタル時、即チ政友、革新、憲政ノ三派ガ所謂護憲運動ナルモノヲ起シマシタル時ニアルト云フコト、及ビ其運動ガ最初専ラ清浦内閣ノ倒壊ヲ主張シ、清浦内閣ノ倒ルルヤ、次デ憲政常道、即チ憲政ヲ常道ニ復サネバナラヌト主張シテ、次デ貴族院令改正ノ聲ガ起リ且ツ益々喧囂トナリマシテ、遂ニ今日マデニ至レル事實ハ、首相モ亦御認メニ相成ルノデアリマセウカ、是ガ第二問デアリマス、首相ハ嘗テ何某カノ問ニ對シテ、自分ハ嘗テ護憲運動ナドト言ヒタルコトハナシ、ソレハ新聞紙ガ言ヒタルコトダ、斯ウ云ハムガ如キコトヲ仰シヤッタヤウニ記憶シテ居リマス、或ハ事實サウカモ知レマセウカ、運動ノ名稱ハ何デモ宜シウゴザイマス、唯今申上ゲタヤウナ事實ヲ御認メニ相成ルノデアリマセウカドウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、次ニ我々ハ固ヨリ政黨ヲ忌ムモノデアリマセウカ、否、政黨ハ憲法政治ヲ行フ通常ノ手段、從テ政黨ハ憲法政治ノ副産物ト云ハムガ如キモノト心得テ居ルノデアリマス、故ニ只管其發展向上ヲ祈ルモノデアリマス、サリナガラ帝國憲法ノ政黨ニ於ケルノハ明カニ之ヲ認ムルノデハナイ、又固ヨリ之ヲ否認スルノデモナイ、要スルニ内閣ノ組織ニ政黨ヲ基礎トスルヤ、必シモ政黨ヲ基礎トセザルヤハ、政治問題ニ屬シテ憲法問題ニ屬シナイト心得テ居リマスガ、首相モ亦其御意見デアリマセウカ、是ガ第三問デアリマス、次ハ御信任ニ依ッテ内閣ノ組織ヲ命ゼ

ラレタル人ハ如何ナル人ヲ以テ内閣ヲ組織シマセウト、ソレハ自己ノ覺悟ト責任デアツテ、憲法問題トハ相關セズ、故ニ政黨員ヲ以テ組織スルモ、非政黨員ヲ以テ組織スルモ、兩者ヲ混淆シテ組織スルモ、亦閣員ノ多數ヲ衆議院ニ採ルモ、又ハ貴族院ニ採ルモ、何等妨ゲアルコトデハナイ、從テ是亦憲法ト相關セズ、寧ろ憲法モ亦過度期ニアツテハ、是等ノ事柄アルベキコトヲ豫想シテ居ルデアラウ、斯ウ心得テ居リマスガ、首相ノ其所見ハ如何デアリマセウカ、之ヲ第四問ト致シマス、次ハ今日ニ於テ内閣ヲ組織スルニ當リ何人ト雖モ政黨ニ其基礎ヲ置クコトヲ得策トセザル者ハアルマイト思ヒマス、而モ尙ホ比較的頻繁ニ所謂超然内閣、中間内閣等組織セラ、所以ノモノハ何デアリマセウカ、要スルニ政黨ノ力ガ未ダ以テ獨力鞏固ノ内閣ヲ造ルニ足ラザルガ爲デアリマスマイカ、制度ノ如何ニハ何等關係ガ無イト思ッテ居リマスガ、首相ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ、是ガ第五問デアリマス、斯ノ如ク考ヘ來レバ、加藤友三郎内閣モ、山本内閣モ將タ清浦内閣モ、其内容ニコソ相違ハ有レ、其組閣ノ經緯、形式ニハ何等異ナルモノアルコトガ無イ、從テ是亦憲法問題ト相關セザルヤウ思ハレマス、首相ノ御考ハ如何デアリマセウカ、是ガ第六問デアリマス、次ハ政黨ノ行動ニ付デアリマス、是ハ或ハ問題外デアルト仰セラル、カモ知レマセウカ、ダガ、サウデアリマセウカ、暫ク御聽キテ願ヒタイノデアリマス、數十年間終始一貫國事ニ盡瘁セラル、ノハ各政黨皆同様ト思ヒマス、中ニモ政友會ノ如キハ黨勢頻ニ加ハリ遂ニ二百八十ト申ス優勢ト成リ、順境ト共ニ主張モ亦愈々穩健トナリ、世間モ亦漸ク其前途ニ望ヲ囑シツ、アッタノデアリマス、ソレカラ其首領即チ原敬君ハ、所謂政界ノ縱斷策ナルモノヲ講ゼラレマシテ、舉黨之ニ満足シテ居ッタヤウデアリマス、折カラ不幸ニシテ一朝原君ニ兇變ガアリマスヤ、其屍未ダ冷カナルニ違アラズ内訌忽チ起リ、遂ニ分離ノ已ムヲ得ザルニ至リタルノミナラズ、原君ガ貴族院ニ政友トシタル人々ニ對シテ、之ヲ敵視シ之ニ對シテ戰ヲ挑ムガ如キ感ガアルノデアアル、サウ云フ風ニ見エルノデアアル、單リ政黨ノ盛衰甚シキモノガ有ルノミナラズ、其主張ニモ亦著シキ變動ヲ來シタヤウニ思ハレルノデアリマス、此事ハ貴族院令ノ改革ニ關係ナキガ如キモ、サウデナイノデアリマス、其動機ニ重大ノ關係ガアルノデアリマス、動機ノ如何ハ改革其モノノ當否ヲ判ズルニ重要ノ關係ガ有リマス、唯今申上ゲタ事實ヲ首相モ亦御認メニ相成ルノデアリマセウカ、之ニ關スル御所見如何デアリマセウカ、此處ニ高



橋農相モ居ラシヤルノデアリマスカラ、御都合ニ依ッテハ高橋農相カラ何ッ  
テモ宜シウゴザイマス、次ハ改革ノ順序方法デアリマス、我々ハ貴族院令ノ  
立法理由ヲ研究スレバスル程、殆ド其改革ノ必要アル所以ノ理由ヲ知ルニ苦  
シムノデアリマス、必要ガ無イト云フ斷言ハ未ダ致シマセヌ、況ヤ輿論ナリ、  
時勢ノ急務ナリトシテ、一氣呵成ニ改革ヲ急ガル、ノ必要オヤデアリマス、假  
ニ何程カ變改ヲ可トスルモノ有リトスルモ、歲月ノ移ルヲ厭ハズ、慎重ノ上  
ニモ慎重審議ヲ盡スベキモノト信ズルノデアリマス、然ルニ首相ガ初メハ善  
處云々ト稱シテ、人ヲシテ首相モ蓋シ改革ノ意ハ無イノデアラウ、斯ウ信ゼ  
シメタノニ拘ラズ、急轉直下ト云ハムガ如ク、大ニ其改革ヲ急ガル、コトト  
ナリマシタル理由ハ如何デアリマセウカ、是ハ第八問デアリマス、次ハ案ノ  
内容ニ付テデアリマス、我々モ亦官文書、殊ニ未確定ノ法案ノ祕密ヲ要スル  
コトハ能ク承知シテ居ルノデアリマス、併シソレハ文書ノ性質ニ依ルモノデ  
アリマシテ、性質ニ依ッテハ其未確定ノ狀ヲ以テ公表シ、以テ學者ヤ識者ノ批  
評ヲ徵シタルモノモ其例ニ乏シカラヌノデアリマス、假ニ世ニ公表スルコト  
ハ然ルベカラズトスルモ、貴族院令第十三條ノ有ル限リ、貴族院ノ承諾ヲ得  
ルニアラザレバ、貴族院令ヲ改革スルコトヲ得ヌノデアリマス、得ナイノデア  
リマス、又政府ガ圓滿ニ改革ノ目的ヲ遂ゲムトセラル、上ニ於テモ未確定ノ  
儘、貴族院ニ内交渉ヲセラル、ガ如キハ寧ろ當然ノ事ト思フノデアリマス、  
政府ノ措置コ、ニ出デズ、人ヲシテ大ニ壓迫ヲ加ヘラル、カノ如キ感ヲ起サ  
シムル、是ハ如何ナル理由デアリマウセカ、本件ハ我ガ貴族院史、貴族院ノ  
歴史……歴史ニ重大ノ事件デアアルノデアリマシテ、改革案ノ内容如何ニ依リ  
マシテハ今後政府ト本院ト間ニ一大論争、論戰ガ勃發スルカモ知レマセヌ、  
之ヲ兵家ノ言葉デ申シマスルト本戰トデモ申シマセウ、サスレバ我々ガ質問  
ヲ致シ、質問戦ヲスルノハ即チ前衛戦デアリマス、正々堂々、極メテ公明正  
大ニ事ヲ了スル上ニ於テモ本院ニ未確定ノマ、改革案ヲ送付セラレマシテ、  
各員ニ豫メ研究セシメ置カル、コトハ、如何デゴザイマセウカ、其必要ハ有リ  
マスマイカ、之ヲ第九問ト致シマス、最後ニ御尋ネ致シ置キタイノハ、改革  
案ガ若シヤ本院ニ於テ否決セラル、ト云フコトニナッタラ如何デアリマセウ、  
假令否決セラレザルモ、政府ガ民意ナリ時勢ノ要求ナリトシテ、大早急ニ作  
ラレル所ノ其改革案ガ、極メテ微温的且ツ極メテ不徹底的ニシテ識者ノ期待  
ニ似モ寄ラヌト云フヤウナモノデアリマシタナラバ、如何デアリマセウカ、政

府ハ爲ニ大ニ識者ノ非難ヲ招カル、ト云フコトニナリマシタナラバ如何デア  
リマセウ、之ニ付テ政府ノ御決心ヲ承ッテ置キタイノデアリマス、之ヲ第十問  
ト致シマス、デ、是マデノ例ニ依レバ首相ハ何程、多量ノ重要ナ問題デモ免  
角之ヲ綜合包括シテ簡單ナ御答ヲナサルノデアリマス、サウシテ質問者ヲシ  
テ失望ニ堪ヘザラシムルヤウナコトガ甚ダ多イノデアリマス、私ハ決シテ其  
御答ニ依ッテ此席ニ於テソレヲ追究シテ論争スルト云フヤウナ考ハ無イノデ  
アリマス、他ニ目的ガ有ル、私ノ述べマシタコトモ明カニ速記録ニ遺ッテ居  
マス、御答モ亦明カニ速記録ニ遺ッテ居ナケレバナラヌ、ソレデ私ノ御尋ネ致  
シマス所ノ十問ニ對シテドウ云フ御答ガアルカト云フコトヲ確メテ置ク、ソ  
レガ私ノ目的デアリマス、決シテ此席ニ於テ徒ラニ時間ヲ費シテ追究論争ス  
ルヤウナコトハ致シマセヌ、ドウカ私ノ申上ゲタ所ノ趣旨ニ依ッテ短クトモ  
宜シウゴザイマス、極ク眞率率直ナル、極メテ御深切ナル御答ヲ希望イタシ  
マス

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 唯今、志水小一郎君ヨリ一二三四ト云フ箇條  
ヲ舉ゲテ御問ニナリマシタガ、甚ダ斯ウ云フ事ヲ申シテ善イカ悪イカ存ジマ  
セヌガ、御趣意ガ能ク私ニ了解シナイ所モアッタノデアリマス、御註文ノ通り  
何レ速記録ヲ見マシテ必要ナラバ御答ヘ致シマセウガ、或ハ又斯ノ如キ色々  
込入ッタ事ハ書面ノ御問デモ御出シ下サッタ方ガ便利カモ知レマセヌ、極メテ  
志水君ニハ不十分ナ御答ホカ出来ヌト思ヒマス、其事ヲ前以テ御斷リ申上ゲ  
テ置キマス、私ガ行届カヌノデアリマスカ、能ク分ラヌ所ガ澤山アッタ、唯  
其中ニ斯ウ云フ御趣意デアッタカト思ハレタ事ダケヲ御答ヘ申上ゲマス、政  
黨ノ行動ニ對シテ私ハ責任ヲ負フヤ否ヤト云フ事ガ第一問デアッタカト思ヒ  
マス、私ハ或政黨ノ首領デアリマスカラ、政黨ノ行動ニ對シテハ私ノ議ニ與  
ッタ事ナラ勿論責任ヲ負ヒマス、但シ政黨員ノ個々ノ人々ノ言論ニ對シテ私  
ガ知ラヌ間ニ起ッタ事ニ一々責任ヲ負フ譯ニイカヌト云フ事ダケ申上ゲテ置  
キマス、ソレカラ第二ハ護憲運動ナルモノヲ認メルヤ否ヤト云フヤウナ御尋  
デアッタカト思ヒマス、此處ガドウモ御趣意ガ能ク分リマヌデシタ、護憲  
運動ト云フ事ハ果シテ如何ナル事デアルカ、私ハ清浦内閣組織當時ノ有様ヲ  
見マシテ甚ダ宜シクナイト云フコトハ確ニ考ヘタノデアリマス、從テ民意ニ  
基カナイ内閣ガ國ヲ治ムルノニ適當デナイト云フコトノ確信モ持ッテ居リマ

シタ、從テ世上ニ於テモ屢、其通りノ言論ハ致シマシタガ、所謂護憲運動ト云フヤウナ形デスルコトハ私ハ責任ハ餘リ無イノデ、自然ニサウ云フ風ニナッタ譯デアリマセウカ、從テ前ノ議會ニ於キマシテモ其御尋ニ對シテハ……ドナタカラカ御尋ガ一二度アリマシタガ、護憲運動ト云フコトハ別ニ加藤ガ發企人デモナケレバ……ト云フコトヲ申シマシタ、私ハ、私ノ行動ハ確ニ致シタノデアリマス、ソレガ偶、所謂護憲運動ト云フモノト一致スル所ガアツタカモ知レマセヌ、ソレカラ第三ノ御尋ハサツバリ私ニ分ラナカッタ、第四ノ御尋ハ内閣組織ノ權能ト云フヤウナコトヲ御尋ニナツタカト思ヒマス、内閣員ハ悉ク政黨員デ無クテハナラヌト云フコトヲ思ッテ居ルヤ否ヤト云フヤウナ御尋デアツタカト思ヒマス、果シテ右ノ如キ御趣意デアツタスレバ、政黨員デナクテハ内閣員ニ成レヌト云フコトハ無論私考ヘテ居リマセヌ、但シ是ハ一ニ内閣組織ヲ御命ジニナルコトハ、陛下ノ大權ニ屬スル所デアリマスノデ、民意ニ基イタ者ガ偶、大命ヲ拜スルコトニナレバ極メテ便利デ有ラウト云フ考ヲ持ッテ居リマスルガ、政黨員デナケレバ、陛下ガ御親任ニナルコトハ出來ナイト云フヤウナコトヲ臣子ノ分トシテ決シテ申スコトデモナシ、又實際サウ云フコトモ考ヘテ居リマセヌ、此度偶、如何ナル思召カ不肖ヲ召サレテ、内閣組織ヲ命ゼラレタノデアリマス、此度デハアリマセヌ昨年ハ……ソレガ偶、加藤ト云フ者ガ憲政會ノ總裁デアルト云フコトハ御上ニ於テモ御承知デアツタコトト拜察スルノデアリマスガ、憲政會ノ總裁タル加藤ニ内閣ヲ組織セシメルト云フ肩書ガ附イテノ御命令デハ無カッタノデアリマス、其以上ノ御上ノ思召ヲ推測シテ、彼レ此レ申上ゲル必要ハ無カラウト思フノデアリマス、又サウ云フコトハ、畏レ多イコトデ出來マセヌ、ソレカラ第八問……五、六、七ト、是ガドウモ能ク分リマセヌ、如何ナル御趣意デアアルカ……ソレカラ第八、貴族院令改正ノ必要ナシト云フコトヲ以テ御述ベニナリマシタ、是ハ私ト全ク見解ガ違フノデアリマス、昨年ノ議會ニ於テ善處云々ト云フコトヲ申上ゲマシタ、ソレガ俄ニ改正ヲ出スノハドウ云フコトカト云フ御言葉ニ聞エマシタ、成程、善處ト云フ字ヲ使ヒマシタガ、善處ト云フコトハ、改革ヲシナイト云フコトデハ決シテナイ、能ク考ヘテ相當ノ處分ヲ致サウト云フコトガ善處デアリマシテ、善處ト云フ言葉ヲ用非タカラ、改正ト云フ事ヲ一切シナイト云フコトノ意味デアルト御解シニナッタラ、解シタ人ノ間違デアルト思フヨリ仕方ガナイ、今日ハ此中ニモ屢、御尋ニ對シテ御答ヘ申シタ通り、議院内ノ議

論ヲ願ミテモ、世上ノ民心ノ趨向、輿論ノ傾向等ニ鑑ミテモ、相當ノ改善ヲ爲スコトガ國ノタメ、又貴族院ノ爲ニモ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ、志水君トハ意見ガ違フデアリマセウガ、私ハ考ヘテ居ル、政府ハ考ヘテ居ル、ソレ故ニ近日改正ノ案ヲ出シタイト云フ希望ヲ以テ今精々其手續ヲ執ッテ居リマス、第九ノ御尋、内容ノ事ニ付テノ御尋デアリマス、是ハ屢、既ニ御尋ノアツタコトデアリマスルガ、何レ私共ノ希望ノ通りニ參リマスレバ、極メテ近キ將來ニ於テ案ノ全部ガ諸君ノ前ニ出サレルコトデアラウト思ヒマスカラ、其時御覽ヲ願ヒタイノデ、唯今ハ御話シ出來ヌコトヲ遺憾ト致シマス、ソレカライキナリ案トシテ貴族院ヘ出サズニ内交渉ヲ何故シナイカト云フヤウナ御尋デアリマスガ、ドウシテ致シマスカ、内交渉ヲ數百人ノ御方ニ對シテ一御話シ申上ゲテ、斯ウ云フ案ヲ出シテ善カラウカ悪カラウカト云フコトハ嘗テ是マデシタコトモナシ、私サウ云フコトハ出來ナイト思フ、案ヲ出シテ貴族院諸公ノ御説ヲ伺フト云フコトハ、是ハ豫テ憲法ニ於テ定マタルコトデ、其手續ヲ執ルノデアリマスカラ、其案ヲ出ス前ニ内々ニ交渉シサウナモノダ、サウ云フ御苦情デアリマスカ何デアリマスカ、私ハ少々致シ兼ネルノデアリマス、案ヲ出シマシタ時ニ、即チ諸公ト相談スル時デアリマスルカラ、御遠慮ナク反對ナリ修正ナリ、意見ヲ御出シニナルコトヲ希望スルノデアリマス、一人カ二人ノ御方ナラ、ドウデモ出來マセウガ、數百人ノ御方ニ御諒解ヲ豫メ得テ、出シテ宜シイカ、出スナラ斯ウ云フ案ヲ出サウカ、サウシテ異議ナシト云フコトナラ出シタ以上議スルコトモ何モナイ、斯ウ話ニナリマスカラ、サウ云フ御註文ハ少シ無理カト思フ、ソレカラ否決ノ場合ニハドウスルカ、先日カラモ斯ウ云フ御尋ガアリマシタガ、否決ト云フコトハ無カラウト思フ、私ハ國家ノ爲ニ此案ガ必要ナリト云フ考ヲ以テ提出イタシマスカラ、諸公モ定メテ御同意下サルコトト存ジテ居ル、否決ノ場合ハドウスルカト云フヤウナコトハ豫メ考ヘル必要ハ無イノデアリマシテ、一向考ヘテ居リマセヌ、必ズ諸公ノ御贊成下サルコトト期待イタシテ居ル次第デアリマス、甚ダ不十分ト云フ御考モアリマウガ、此點ハ隨分複雑デアリマシタカラ、最早質問應答ノ形ノミデモ、少シ出來ヌコトカモ知レマセヌガ、或ハ御書キニナツタモノデアリマスレバ、拜見イタシマシテ御答ヘ申上ゲテモ宜シウゴザイマス、今日ハ是デ止メテ置キマス

○志水小一郎君 私ハ先刻述ベマシタ如ク、首相ノ御答ニ對シマシテ追究ニ

追究ヲ重ネテ論争スルヤウナコトヲ致サヌ覺悟デアリマス、私ノ目的ハソレデアリマセヌ、併シ分ラヌト仰シヤルノデスカラ、御分リニナラヌ點ダケヲ簡單ニ申上ゲマセウ、第二ガ分ラヌト仰シヤッタ、第二ハ、私ノ御尋ハ斯ウデアリマス、貴族院令ノ改革ニ付テハ是マデ永イ年月ノ間ニ、頓ニ……其間ニ問題ガ起ッタデアリマセウ、併シ其聲ノ頓ニ高クナリマシタノハ清浦内閣ノ組閣サレタル時デアリマセヌ、其時ト申シマスルノハ、即チ政友、革新、憲政ノ三派ガ所謂護憲運動ナルモノヲ起シタ時ノコトヲ言フデアリマス、サウシテ其運動ハ最初ニハ清浦内閣ノ崩壊ヲ主張イタシマシテ、清浦内閣ガ倒壊スルヤ憲政ヲ常道ニ復サナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ唱ヘマシテ、次デ貴族院改革論ガ起リマシテ段々喧シクナッタ、斯ウ云フ事實、私ハ斯ウ云フ事實ヲ認メテ居リマスガ、首相モ亦此事實ヲ御認メニナルコトデアリマセウカドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネスルノガ第二デアリマス、ソレカラ第五、六、七ガ分ラヌト仰シヤイマスカラ是モ簡單ニ申上ゲマス、第五ハ今日ニ於テハ内閣ヲ組織スルニ當リ、何人ト雖モ政黨ニ其基礎ヲ置クコトヲ得策トセザル者ハアリマスマイ、而モ尙ホ比較的頻繁ニ超然内閣、中間内閣ト云ハムガ如キモノガ出來マスルノハ、ドウ云フ理由デアリマセウカ、要スルニ政黨ノ力ガ未ダ以テ獨力鞏固ノ内閣ヲ造ルニ足ラザルガ爲デアリマスマイカ、政黨ノ如何ニハ何等關係ハ無イノデアリマスマイカ、斯ウ御尋ネ致シタノガ第五問デアリマス、ドウカ能ク御記憶ヲ願ヒマス第六問、斯ノ如ク考ヘ來リマシタナラバ、加藤友三郎内閣モ、山本内閣モ、清浦内閣モ其内容ニコソ多少ノ相違ハ有レ、組閣ノ經由形式ニ於テハ何等違ッタモノハ無イノデアリマセヌカ、何等違ッタモノガ無イト仰シヤルナラバ、憲法問題トハ少シモ關係ハ無イノデアリマセヌカ、是ハドウ首相ハ御覽ニナツテ居ルカ、是ガ第六問題デアリマス、ソレカラ第七問題、第七問題ハ政黨ノ行動ヲ申シタノデアリマス、外ノ事ハ申スニ及バヌ、政友會ノ如キモノハ多年盡力ノ結果、黨勢日々加ハツテ二百八十ト云フ優勢ナ政黨トナラレタ、順境ト共ニ主張モ亦益々穩健トナツテ來タ、世間モ亦漸ク望ヲ屬シテ居ッタ、其際、首領原君ハ政界ノ縱斷策ト云フコトヲ講ゼラレタ、ソレニ付テハ舉黨満足シテ居ッタノデアリマス、所ガ一旦、原君ニ凶變ガ有ルヤ忽チ其有望ナ政黨ハ分立シテシマッタ、政黨其モノニ非常ナ盛衰ヲ見タルノミナラズ、主張ニモ亦非常ナ變動ヲ來シタノデアリマスガ、別言スレバ政界縱斷策云々トハ貴族院ノ或部分

トドシナ事ガアツタカ存ジマセヌケレドモ、協調サレテ居ッタデアリマス、ソレカラ之ニ對シテ特權階級ダトカ、何トカ云フコトヲ云ウテ戰ヲ挑マレタデアリマス、ソレヲ私ハ指シテ申スデアリマス、原君ガ亡クナルヤ否ヤ、政黨其モノニ斯ウ云フ氣ノ毒ナ状態ヲ來シタノミナラズ、政黨ノ主義主張ニモ變動ヲ來シタノデアリマセヌカ、之ヲドウ御覽ニナリマスカ、斯ウ御尋ネシタノデアリマス、五、六、七ハソレダケ、ソレニ付テ御答ガアリマスレバ簡單ナ御答デ満足イタシマス、私ノ述ベマシタコトハ速記録ニ遺リマス、首相ノ御答ヘナサルコトモ速記録ニ遺リマス、之ニドウ云フ關係ガ出來マセウカ、世間ノ人ハ能ク注意シテ見テ居リマス、私ハ決シテ何モ辯ヲ弄スル者デモ何デモナイ、頗ル是ハ重要ナ事ト思ヒマスニ依ッテ、私ニ對シテ首相ノ御答ヲ速記録ニ遺シテ置ケバ、今日ノ首相ノ御答モ分ラヌケレバ、ソレニ依ッテ能ク研究イタシ、世間ノ人モ必ズ注目イタスデアリマス

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 誠ニ恐縮デアリマスガ、相變ラズ分ラヌ、第二問ハ是レノ事實アリト認ムルヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、モウ是ハ大分舊イ話デアリマスカラ、事實ヲ認メルヤ否ヤト云フコトハ銘々ノ見ル所ニシテ置イタラ宜カラウト思フ、此現在起ッテ居ル所ノ問題ニ關係ノ有ル事デアレバ、政府トシテ御答ヘ致シマスルガ、過去ノ歷史上ノ事實ニ付テ斯ウトカア、トカ論争ヲスル必要ハ私ハ無イカト考ヘル、ソレカラ第五問ハ斯ウ云フ事ガ分ラヌカト云フ御尋デシタガ、相變ラズ分ラヌ、政黨ノ……中間内閣ナゾ出來ルノハ政黨ノ力ガ弱イノデヤナイカ、斯ウ云フ様ノ御言葉ダケ耳ニ殘ッテ居リマスガ、ソレハ種々ノ事實ニ依ッテ過去ノ内閣モ色々出來マシタガ、其話ヲ申上レバ大分時間ガ長クナリマスシ、又人ノ見ル所ニ依ッテ違ヒマスカラ、是亦強ヒテ今日政府ニ御尋ネニナラヌデモ、過去ノ内閣ガドウシテ成立ッタト云フコトハ、知ッテル人ハ知ッテ居リマスカラ、私モ知ッテ居ル積リデアリマスガ、貴族院ノ問答ノ題材トシテハ餘リ適當デナイト思ヒマス、ソレカラ第六……是モ分ラヌ、加藤友三郎内閣トカ屢々聽エマシタガ、此内閣ガドウナツタノヤラ、前ノ御尋トドウ云フ關係ガアリマスカ、私ニハ了解シナイ、ソレカラ第七ハ政友會ノ行動ニ付テノ御尋デアリマスガ、私モ不肖ナガラ内閣總理大臣ト致シテ、政友會ノ行動ヲ此場所ニ於テ批評スルト云フコトハ避ケタイノデアリマス、又農商務大臣トシテ政友會ノ御方モ御居デ

ニナリマスガ、是ハ政府ニ對シテノ御尋デアリマセウカラ、個々ノ人ニ御尋ネニナレバ又別ノ席モアリマセウシ、又機會モアリマセウカラ、政府ニ對シテノ御尋ナラバ、私カラ御答ヘ申サヌノミナラズ、高橋君モ御答ヘナカラウト思フ、此邊デ措キタイ、速記録云々ト云フコトモアリマシタガ、是ハ見ル人モ澤山アリマセウガ、見ヌ人モ随分アリマセウ

○志水小一郎君 私ハ總理大臣ノ御答ヲ以テ満足イタシマス、蓋シ速記録ヲ懇ロニ見ル人ノ皆ハ満足ヲ致スマイト思ウテ、其意味ニ於テ申上ゲマス、ソレカラ此議場ニ於ケル問答トシテ好マシカラヌト仰シヤルノデスケレドモ、私ハサウハ思ハヌ、私ハ、ソレハ御前ノ意見ダト仰シヤレバ、ソレデ宜イ、私ノ意見デアリマス、何モ其制度ノ如何トハ關係ハナイト、兎角、中間内閣トカ、超然内閣ナゾト云フモノガ、政黨トシテ甚ダ好マシカラヌモノガ屢、現出スル、今後モ屢、現出スルダラウト私ハ思フ、是ハ要スルニ政黨ノ力デアルト斯ウ思ヒマスカラ、首相ハサウハ思ヒナサラヌデゴザイマセウ、サウ云フ問題ハ此議場ニ於テスルノハ好マシカラヌト仰シヤルナラバ、ソレデ宜シイ、ソレデ私ハ是デモ止メマス、満足イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時十五分休憩

午後一時四十九分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

[成瀬書記官朗讀]

本日決算委員長ヨリ原保太郎君ヲ第三分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、通告ニ依リマシテ鎌田榮吉君ニ發言ヲ許シマス

[鎌田榮吉君演壇ニ登ル]

○鎌田榮吉君 唯今、議長ヨリ發言ヲ御許シ下サイマシテ、私ハ主トシテ、文政問題ニ付テ質問ヲ致シタイノデアリマス、ソレニ付キマシテハ總理大臣、大藏大臣、内務大臣、農商務大臣、文部大臣、此諸大臣ニ御出席ヲ願ヒ

マシテ、ソレゾレ御指導ヲ仰グデアリマス、總理大臣、内務大臣ハ據所ナキ御用ノ爲ニ、コレヘ御臨席ニナリマセヌ、從テ私ノ質問ハ、少シク形ニ於テ變化ヲ來スヤウナ譯デ、併ナガラ唯今御出席ニナリマシタ所ノ各大臣ノ御答辯ヲ煩ハシ得ルダケノコトヲ質問イタシタイト思ヒマス、最初ニ大藏大臣ニ向ッテ伺ヒタイコトハ、今回ハ政府ハ行政財政ノ整理ヲ決行イタサレマシテ、其結果種々ノ整理ヲ見タ譯デアリマスガ、併ナガラ私ノ考デハ、此通貨ノ始末ガ眞ニ付カナイ以上ハ、財政ノ整理、從テ行政ノ整理モ出來ナイ譯デアリマス、是ハ大藏大臣モ豫テ在野當時カラ御主張ニナリマシテ、必ズ御就職ノ上ハ、何等カノ施設ヲナサレルデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマシタガ、大藏大臣ノ御就職後ノ御辯明ニ依リマス云フト、最初此説ヲ主張シタ時ハ、即チ先ヅ圓モ四十七八弗ノ相場デアッタ所、今日ハ四十弗内外ノ見當ニナッタカラ、斯ノ如キ大イナル相違ノアル時ニ輸出禁止ヲ解除スルト云フコトハ、非常ニ經濟界ノ攪亂ヲ起ス、故ニ先ヅ時機ヲ見テ之ヲ行フノデアアル、主義ニ於テハ禁輸ヲ解除スル、解禁論デアアル、斯ウ云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス、私ハソレヲ決シテ前ノ御説ガ變ハッテ、即チ所謂改論變説デアルトカ何トカ言ッテ、之ヲ決シテ私ハ答メルノデハナイ、成ルベク國家ノ爲ニ是ナリト信ゼラル、所ニ依ッテ御進ミ下サッタナラバ、ソレデ結構デアアル、併ナガラサウ云フ主義ヲ有ッテ居ラレ、而シテ之ヲ時機ヲ見テ御決行ニナリマヌナラバ、何等カノ方法ヲ立テ、漸次ニ、之ヲ一時ニ行ハナケレバ、漸次ニ之ヲ行フトカ何トカ云フコトヲ致サレタイノデアリマス、然ラザレバ段々ニ此圓ノ位ガ下ガリマス云フト、即チ購買力ガ減却サレテ十五億ノ豫算ヲ御立テニナッテモ、購買力ニ於テハ十二億ノ價值シカ無イコトニナル、是デハイツマデ經ッテモ、眞ノ財政整理ト云フモノハ出來ナイノデアリマス、其基礎根本タル所ノ通貨ニ於テ、十分ナル御施設ガ無ケレバナラヌト、斯様ナ考デアリマス、要スルニ今日ノ所デハ、全ク不換紙幣ノ状態ニ在ルノデアリマス、法律ニ於テハ何時ニ於テモ引換ヘルト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、ソレヲ事實ニ於テ引換ヘナイト云フ政策ヲ執ッテ居ラレマス、併ナガラ其政策ガ眞ニ效果ヲ奏スルヤ否ヤト云フコトハ、頗ル疑問ヲ有シテ居ルノデアリマス、如何トナレバデス、貨幣ノ地金ノ價ハ六圓五十錢デ、而シテ刻印ヲ打タレタル貨幣ハ五圓ノ位ニアルノデアリマスカラ、何等カノ方法ヲ以テ、是ガ段々ニ引出サレ、段

段ニ賣出サレルト云フコトハ、全ク是ハ如何ニ嚴重ニシテモ止メルコトハ出來ナイ、今日ハ随分、引換ヘルト云フコトハ餘程ノ理由ガ無ケレバ引換ヘラレナイ、併ナガラ折々私ノ耳ニスル所ニ依リマス、過日モ随分澤山ノ引換ヲ要求サレ、遂ニ萬ヲ以テ數フル所ノ金貨ヲ引換ヘラレタ、直チニソレヲ市場ニ賣拂ツテ莫大ナル利益ヲ得タ者ガアルト云フコトヲ私ハ聞及ンデ居ルノデアリマス、是ハ有リサウナコトナンデス、ドウシテモ之ヲ防グト云フコトハ如何ニ政府、日本銀行ガ努力セラレテモ、是ハ水ノ漏ル、ヲ防ギ得ザル如ク防ギ得ナイモノデアアル、サウシテ見レバ金貨ハ失ハザラムトシテ常ニ失ヒツ、アルノデアリマス、一時ニ失ハザルモノガ始終漏洩……漏レルコトニ依ツテ失フト云フコトハ、ドウシテモ免レ得ナイコトデアアル、故ニ之ヲ速急ニヤレバ經濟ヲ攪亂シテ弊害ガアルナラバ、何トカシテ漸次ニ之ヲ行フ……行フナラバ一日モ早ク之ヲ行フト云フコトニ方針ヲ定メラレタナラバ如何デアラウカ、必ズ此點ニ付テハ確タル御抱負ノアルコトト思ヒマスカラ、ソレヲ私ハ伺フノデアリマス、併ナガラ私ハソレヲ決シテ主トシテ伺フノデアリナイ、之ニ關聯シテ伺ヒタイノハ、即チ此ノ行政財政ノ整理ヲ決行スルト云フコトハデス、所謂無用ノ費用ヲ省イテ有用ノ費途ニ向ケルト云フコトガ目的デナケレバナラス、唯國家ハ財政ガ窮迫シタカラ儉約スレバ宜シイ、公債ノ募集ヲ成ルベク減ズレバ宜シイ、吏員ヲ淘汰スレバ宜シイト云フダケガ、行政財政ノ根本的整理デハナイ、併ナガラ此根本整理ニ付キマシテハ、過日來モ高橋琢也君等カラシテ御説ガアリマシテ、今日ノ如キ繁文縟禮、又維新後其儘ノ總テ官吏ノ事務ノ執リ方ト云フヤウナ……所謂會議ニハ三十、五十ノ定員ガ坐ルト云フヤウナ方法ヲ改メタラドウカト云フヤウナ御説モアリマシタ、是モ即時ニハ出來ナイガ追々ヤルト云フ御話ガアリマシテ、是モ御尤ナコトト私ハ思フノデアアル、併ナガラ要スルニ行政財政ノ整理ヲ行フコトハ、何等カ新シク施設ヲスルト云フコトデナケレバ意味ヲ成サナイノデアアル、唯儉約ヲシタト云フコトダケデハ何ノ意味モ成サナイ、ソレハ政治ト云フモノデナイ、所謂出ヅルヲ量ツテ入ルヲ爲スノガ國家ノ方針デアリマスカラシテ、ソコデ必要ガアレバ増税モ已ムヲ得ナイ、又公債募集モ已ムヲ得ナイ、併ナガラ徒ナニ公債ヲ募集シ、徒ラニ増税ハ無論出來マセヌケレドモ、國家ノ進運ニ伴フ施設ヲスル所ガナケレバ何等ノ效ヲナサナイト云フコトハ申ス迄モナイ、ソコデ此文政ト云フコトガ、是ガ今日最モ大切ナコトデ

アル、即チ最モ此輿論ノ請求スル所ハ、第一ニ義務教育費國庫負擔額ノ増加ト云フコトヲ頻ニ要求サレテ居ルノデアリマス、私ハ常ニ此事ハ念頭ニ置キマシテ、必ズ今回ハ豫算ニ多少ノ此費額ガ計上セラレテ居ルノデアラウト云フコトヲ窃ニ待設ケマシタ所ガ、何ゾ圖ラム、豫算案ガ提出セラレテ見ルト云フト、一錢一厘ノ計上モナイ、私ノ失望ハ無論ノコト、天下萬衆何人カ失望セザラム、實ニ驚入ツタ譯デアアル、是ハ豫テ臨時教育會議ニ於テ建議セラレマシテ、教員給ノ半額ニ達スル迄成ルベク速ニ負擔額ヲ増加セヨト云フトガ政府ニ建議ニナツテ、歴代ノ内閣此方針ヲ追ウテ、最初寺内内閣ニ於テ一千萬圓ヲ計上シ、加藤友三郎内閣ニ於テ三千萬圓増額シテ之ヲ四千萬圓トシ、而シテ其後内閣頻々更迭イタシテ今回ノ内閣ニナリマシタ所、此内閣ハ常ニ總理大臣モ仰セノ如クニ、衆議院ニハ多數ノ與黨ヲ率キ、亦貴族院モ此政策宜シキヲ得レバ、貴族院滿場舉ツテ政府ヲ支持スルニ違ヒナイ、此政府ニ於テ何ヲ苦シンデ負擔額ノ増額ヲナサナイノデアアルカ、甚ダ之ヲ解スルニ苦シムノデアアル、果シテ是ガ輿論ノ要求デアッタ證據ニハ、現ニ政府ノ與黨ガ之ヲ請求シ、又在野黨ガ之ヲ請求シテ遂ニ政府ハ大正十五年度ニ於テ二千萬圓ノ増額ヲナスコトニ努力スルト云フコトヲ聲明セラレタノデアアル、此聲明ハ私ハ尙ホ無キニ優ルト思ヒマスケレドモ、ソレハ何故十四年度カラシテ之ヲ爲サナイノカ、十五年度ト云フマダ來ナイ年ガ勘定ガ出來ルナラバ、來テ居ル十四年度ハ勘定ガ出來サウナモノデアアル、若シ十四年度ニ出來ナイモノナラバ、十五年度ニ出來ル筈ガナイ、十四年度ト十五年度ト何等違ッタコトハナイ、或ハ圓ノ價格ガ此上、下落シタナラバ、十五年度ハ十四年ヨリ一層出來ナイコトニナリハシナイカ、斯様ニ思フノデアアル、併ナガラ政府ガ此財政ノ整理ヲ決行シ、又爲替ノ恢復ノコトニ御努力ニナリマシタナラバ、此憂モ未然ニ防グコトガ出來ヤウト思ヒマスカラ、敢テ是ガ何レガ善イカトカ惡イトカ申スノデアアリマセヌガ、唯茲ニ大藏大臣ニ向ツテ必ズ十五年度ニハ二千萬圓ヲ増額スルコトニ努力スルト云フコトヲ明白ニ……繰返サレテデモ、私ハ明白ニ聲明セラル、コトヲ希望スルノデアリマスガ、出來ルナラバ十四年度カラシテ其半額ト雖モ、之ヲ御計上ニナルコトニ改メラレト云フコトガ決シテ今日ト雖モ遅クナイノデアアル、而シテ此文政問題ニ於キマシテ最モ大切ナ事ハ何デアリマスかと云フト、即チ義務教育年限延長ト云フコトデアアル、此義務教育年限延長モ、是モ臨時教育會議ニ於テハ時期尙早シト雖モ漸次

之ヲ時ノ宜シキニ從ッテ行フベシト云フコトニナッテ參リマシタ、所ガ即チ第四十六議會ニ於キマシテ國庫負擔額ヲ三千萬圓増額ヲスル、其附帶決議トシテ政府ハ速ニ義務教育年限ノ延長ヲ行フベシト云フコトガ當院ノ附帶決議トナッテ居ル、其後、歴代ノ内閣ハ當院ノ決議ヲ尊重セラレテ、第一、加藤友三郎内閣ニ於テハ直チニ義務教育年限延長ノ案ヲ立テムトシタ、而シテ其施設進マザルニ既ニ内閣ハ倒レ、次ノ内閣、山本内閣ハ其時機ヲ得ルニ至ラズシテ内閣ガ倒壞シ、清浦内閣ノ時ニハ直チニ此案ヲ提出セラレタノデアアル、其案ノ内容ト費用ノ額等ニ付テハ皆ソレゾレ相違ハ有リマスケレドモ、當院ノ決議ヲ重ンジテ義務年限ヲ延長スルト云フコトニ皆努力セラレテ居ルノデアアル、斯ノ如キ經歷ヲ有ッテ居ル所ノ此案件ガ、今日ノ内閣ノ如キ多數ノ與黨ヲ率キ、殆ド從來ニナキ所ノ大勢力ヲ有ッテ、思フ所爲シ得ザルナシト云フ此内閣ニシテ、義務年限延長ヲ一向計畫サレナイノデアアル、冷淡極マルノデアアル、是ハ何タルコトデアリマス、第一、國庫負擔額ノ増額ト云フコトヲ爲サレズ、漸ク強制セラレテ來年度カラ成ルベクヤルヤウニ努力シヤウト云フコトニナツタ、而シテ此來年ト云フモノノコトヲ今日カラ之ヲ豫言スル、豫算ノ金額ト云フ最モ現實的ノコトヲ豫言シ得ルナラバ、又此義務年限延長ト云フコトモ略、計畫ヲ定メテ、斯ウ云フ順序ニシテヤル積リデアアル、一時ニヤレナケレバ漸次ニヤル、何トカ云フ所ノ全體方針ト云フモノガ決マラナケレバナラス、今回加藤内閣ハ貴族院改革、又普選案ノ實行、殆ド立憲制度施行以來未ダ嘗テ無キ所ノ大改革、我が立憲政治上ニ於テ一ノ時代ヲ劃スベキ所ノ大政策ヲ持ッテ立タレタ、斯ノ如キ大政策ノ善シ惡シハ人々ニ依ッテ説ハ變ハリマスガ、免ニ角、偉大ナルモノニ違ヒナイ、此偉大ナル政策ヲ實行スベキ内閣ガ其最後ニアルベキ所ノ……其根本タルベキ所ノ教育ノ大方針ト云フモノヲ少シモ定メラレナイ、大方針ハ既ニ定マツテ居ッテモ、其大方針ノ要求スル所ニ向ッテ施設ヲ爲サレナイト云フコトハ如何ナル譯デアアルカ、是レ甚ダ私ハ怪訝ニ堪ヘナイ譯デアアル、殊ニ岡田文相ハ常ニ此事ヲ在野當時カラ御主張ニナッテ居ル、即チ國庫金増額ノ計畫アル毎ニ成ルベク積極的施設ヲシナケレバ其效ガ無イデヤナイカト云フコトハ、當席ニ於テモ頻々御主張ニナリ、痛切ニ御心配ニナッテ居ルコトハ、私常ニ尊敬ヲ拂ッテ伺ッテ居ル所デアリマスカラ、岡田君自ラガ文相ノ席ニ就カレタナラバ、直チニ此事ヲ御決行ニナルグラウト云フコトヲ期待イタシテ居ッタ、其期待ガ裏切ラレテ今日何等ノ施設ト云フモノヲ、此豫

算面上ニ於テ見ルコトノ出來ナイト云フコトハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、甚ダドウモ是ハ遺憾ニ堪ヘナイコトデアアル、尤モ師範學校改善、師範教育改善、之ヲ先ヅ第一ニ行ハレ、而シテ漸次此教員ノ充實ヲ俟ッテ、而シテ是ハ行フガ順デアラウ、斯様ニ仰セラレテ居マスカラシテ、義務教育年限延長ヲ否定セラレルノデナイト云フコトハ分ッテ居ル、必ズ之ヲ肯定セラレテ居ルニハ違ヒアリマセスケレドモ、併ナガラ如何ニモ氣ノ長イ話、先ヅ師範學校……教員ヲ充實スル、ソレカラヤル、成程、教員ガ無ケレバ出來マセヌ、金ガ無ケレバ出來マセヌ、併ナガラ漸次ニ其方針ニ從ッテ何等カノ施設ヲ爲サレテ、大體ニ於テ教育界ハ無論ノコト、全體ノ社會ニ向ッテ、政府ノ抱負ヲ示サレルト云フコトガ、私ハ最モ今日必要ノコトデナイカト思フ、然ルニ今日マデ何等ノ之ニ付テノ御聲明ガ無イノミナラズ、義務年限延長ハ行フコトハ行フ、何時カラ行フカ分ラナイ、時期ハ分ラナイト云フコトヲ過日、成清君ノ御質問ニ對シテモ御答ヘニナッテ居リマシテ、頗ル心細イ感ジヲ致シテ居リマシタ、此心細イ感ジヲ持ッコトハ天下一般ノ感ジデアアル、此義務年限延長ト云フコトガ、是ガ最初ハ或ハ教育者ガ主トシテ之ヲ熱望シタヤウデアリマス、アレハ教育家ノ主モニ言フコトデアアル、或ハ又極ク抽象的ニ日本モ一等國ニナツタ以上ハ他ノ歐米ノ大國ト同ジヤウニ、少クモ八年ノ義務教育ト云フモノヲ行ハナケレバナラスデアアルト云フヤウナ、寧ロ是ハ道理ニ於テハ頗ル宜シイケレドモ、寧ロ抽象的ノ議論デアッタカノヤウニ思フノデアリマス、併シ今日ハサウデナイ、今日ハ政治上、社會上、又此產業上等カラシテ義務年限ノ延長ト云フ事ヲ非常ニ切望シテ居ルト云フコトハ確カナ話デアアル、第一、私ハ總理大臣及内務大臣ニモ御列席ノ上デ申上ゲタイト思ヒマシタガ、文部大臣ダケデモ宜シイノデアリマス、第一、今日最モ我々ノ憂トシテ居ル所ハ何デアリマセウ、世間デ謂フ所ノ思想動搖デアリマス、其思想動搖トカ、思想惡化トカ云フ抽象的ノ事ヨリモ、第一、赤化運動ト云フモノガ益、熾烈ニナッテ來タノデアアル、非常ニ恐ロシイコトデアアル、今後私ハ一層此事ガ勢ヲ以テ進ンデ來ルダラウト思フノデアリマス、是デアリマス、之ヲ如何ニシテ防止セラル、積リデアアルカ、隨分世間ニハ赤化防止團トカ、或ハ其他思想善導ト云フ色々ノ事ガ有リマスルケレドモ、何レモ抽象的ノ事デアリマシテ眞ニ之ニ當ルベキ施設ト云フモノヲ致サムケレバ效ハ無イノデアリマス、今此赤化運動ト云フ事ハ、第一最初ニハ歐米諸國ニ向ッテ非常ニ試ミラレタノデアリマ

スガ、歐羅巴ニ向ッテハ案外其效果ハ無イノデアリマス、歐羅巴ハ東洋ヨリモ非常ニ民衆的デアルニモ拘ラズ、非常ニ「デモクラティック」デアルニモ拘ラズ、ソレ程ノ效果ト云フモノハ無イノミナラズ、今日ハ餘程、反動的ノ時期ニ入ッテ居ルノデアリマス、殊ニ英國ノ如キハ斯ウ云フ事ガ行ハレサウナ形勢マデ見エタガ、ナカク行ハレヌ、英國ハ隨分此勞働内閣ノ成立ニマデモ至ッテ、勞働内閣ヲ支持スル、國民ノ多數ガ勞働内閣ヲ歡迎スルト云フ時モ有リマシタケレドモ、此勞働内閣ナルモノガ、或程度ヲ超エテ、稍、此所謂「ボルシエヴィキ」ノ、赤化的ノ傾向ヲ帶ビルト云ッテ國民ハ直チニ此内閣ヲ倒壊セシメテ、又保守黨内閣ニ戻ッテ居ルト云フノガ今日ノ現狀デアリマス、何ガ故ニ斯ノ如キ所謂赤化防止ヲ爲スカト言ヘバ、英國ハ教養ヲ尊ンデ居ル、形式的ノ小學校教育ハ日本ノ方ガ進ンデ居ルカ知レマセヌガ、眞ノ教養ト云フモノハ、確ニ英人ハ教養ノ念ヲ備ヘテ居ル、殊ニ自尊自重ノ念ヲ英人ガ有ッテ居ル、此自尊心ノ盛ンナ英人ニ向ッテ赤化運動ヲシテモ效果ハ無イ、獨逸ニ於テモ效果ハ無ク、佛蘭西ニ於テモ效果ハ無イ、伊太利ノ如キハ最モ反動的ノ時期ニナッテ居ル、ソコデ此赤化運動ト云フ事ハ露西亞ニ於テハ、非常ニ努力ヲ致シテ居リマスガ、ドウモ西歐羅巴等ニ向ッテハ、ソレ程ノ效果ハ無イカラシテ、是ハ亞細亞ニ向ッテ大イニヤラナケレバナラス、即チ支那ノ如キ小學教育ノ不完備ナ所ニ向ッテ進ムノガ最モ效果ガ有ルト云フ兆ガ見エル、益々東邦ニ向ッテ此赤化運動ト云フモノヲ進メテ來テ居ルト云フコトハ事實デアリマス、之ヲ即チ防止スルト云フコトガ國民教育ヲ引上ゲ、國民ヲシテ常識ヲ備ヘ、國民ヲシテ自重ノ心ヲ養ハシメ、而シテ所謂附和雷同ノ傾向ト云フモノヲ持タセナイヤウニスルト云フコトガ、即チ我ハ我ノ信ズル所アリ、何ゾ他ニ雷同セムヤ、何ゾ他ノ煽動ニ乗ラムヤト云フコトノ、即チ抱負ト云フモノヲ國民ニ持タセルト云フコトガ、何ヨリモ鞏固ナル所ノ是ガ方針デア、是ハ思想ノコトハ砲臺ヲ築イテモ防グコトハ出來ヌ、鐵條網ヲ張ッテモ這入ッテ來マス、之ヲ防グニハ國民ノ教育ヨリ外ハナイ、即チ義務年限ヲ延長イタシテ、即チ今日ノ十二歳以上十三四歳ト云フ位マデノ教養ヲ施サナケレバ、何等ノ事ハ分ラナイノデアアル、十二歳以下ノ教育モ大切デアリマスケレドモ、稍、此意義ヲ解シ、社會ノ事、政治ノ事等ヲ解スルト云フニハ十二歳以下デハ到底出來ナイコトデアリマスカラ、一般國民ニソレ等ノ常識ヲ有タシメルガ爲ニハ其施設ト云フモノヲ速ニシナケレバナラス、是ハ一日ヲ爭

フ譯デア、況ヤ此政治上種々ナ新シイ施設ヲセラレルト云フコトデアレバ、内治上ニ於テモ是ガ必要ナコト、既ニ陪審法ト云フモノガ施行セラレ、又選舉法ヲ擴張セラレ、其他ノ種々ノ大施設ヲ爲サル、ノニ、其背景トナリ、其根本トナルベキノ教育ノ施設ト云フモノニ付テハ更ニ手ヲ染メナイト云フコトハ私ハ頗ル怪シムベキコトデアルト思フ、ドウ云フ全體信ズル所アラレテ斯ノ如キ緩漫ナコトヲ爲サレテ居ルカト云フコトハ、私ハ文部大臣ニ向ッテ伺ッテ見タイ、文部大臣ノミナラズ其他ノ各大臣ニモソレゾレ伺ヒタイト思ウテ居ル、即チ今日ハ内務大臣モ御缺席ニナッテ居リマスガ、他日又内務上ノ事ニ付テ勞働條件ト云フモノヲ改正セラレ、色々ノ勞働上ノ法規ヲ設ケラレ、之ヲ教育ノ延長ナクシテ、是等ノ事ガ效果ヲ奏シ得ルカドウカト云フコトハ、頗ル疑ヲ懷イテ居ルノデアアル、又農商務大臣ハ御出席ニナッテ居リマスガ、農商務大臣ノ御説ニ私ハ非常ニ敬服シタコトガアル、ソレハ昨日デアッタ、昨日、佐藤友右衛門君ノ質問ニ對シテ農商務大臣ハ答辯セラレテ、此農村振興ト云フ事ハ唯負擔ヲ輕減スルト云フコトダケデハイカヌ、積極的ニ能率ヲ進メ收穫ヲ増ス所ノ計畫ヲシナケレバナラス、是ハ教育其他ノ事ニモ依ラナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ御答辯ニナッタノハ頗ル私ハ敬服スルノデアアル、ドウシテモサウナケレバナラス、今日、産業上ニ於テ能率ヲ進メ、收穫ヲ増スト云フ必要ハ非常ニ起ッテ居ル、佐藤君ノ言ハレル負擔ノ輕減ハ無論必要ナ事デアリマスケレドモ、一方ニ於テ能率ヲ進メ收穫ヲ増加スルト云フコトノ施設ヲ著々トシテ農商務省ハ爲サレヌケレバナラスト私ハ考ヘル、然ルニ此施設、例ヘバ農商務省ガ此模範ヲ示シテモ國民タル者ガソレヲ理解シテ、之ヲ實行スルニ當ッテ、ソレダケノ教養ガ有ルカドウカト云フト、私ハ確ニ缺ケテ居ルト思フ、例ヘバ農村ノコトニ致シマシテモ、肥料ノコト、土壤ノコト、其他色々植物ニ關係スル所ノコトニ付テ、何等カノ施設ヲシヤウト言ッテ農會ニ於テ種々研究ヲサレ、又當局ノ官廳ニ於テモ、ソレゾレ世話ヲサレテモ、之ヲ受入レル所ノ國民ニ於テ、ソレダケノ素養ガ無ケレバ何等ノ效果ヲ奏シナイ、肥料ハ何ダ、土壤ハ何ダ、之ヲ學理的ニヤラナケレバ到底今日ノ農業ヲ振興セシムルコトハ出來ナイノデアリマスケレドモ、國民ガ今日ノ程度ノ教養デハ到底出來ナイノデアアル、然ルニ能ク此義務年限延長ニ反對スル人ハ隨分ハ古イ考カラ起ルノデアリマセウケレドモ、イヤハ農民ダノ漁民ダノト云フモノハ教育ナンドハ要リハシナイ、唯働イテ居リサヘスレ

バ宜イ、マツイ物ヲ食ッテ働イテ居リサヘスレバ宜イト、云フヤウナコトヲ、今日ハマサカサウ云フ頭ノ人モ有リマセスケレドモ、サウ云フコトヲ能ク言ハレタモノデアアル、所ガ農民漁民ホド或程度ノ教育ヲ必要トスルモノハ無イノデアリマス、例ヘバ或人ノ最モ教育ヲスル必要ナシトスル所ノ、或ハ又延長ノ教育ノ必要ナシトスル所ノ漁民ノ如キモノハ、最モ今日ハ是ガ無クテハ到底業務ヲ營ムコトガ出来ナイト云フコトノ程度ニ達シテ居ル、如何トナレバ今日ハ往日ノ如ク唯海岸ニ於テ小サナ漁船デ以テ魚ヲ捕ッテ、是ハ一例デアリマスガ、捕ッテ居ッテ、ソレデ以テ生活ガ出来ルカト云フト決シテ出来ヤシナイ、矢張り随分大キナ船、又發動機ヲ裝置シテ遠洋ニ行ッテ漁業ヲシナケレバナラヌ、或ハ追々無線電信トカ無線電話ト云フヤウナモノモ利用シテ、又飛行機ナドモ現ニ利用シテ居ル所ガアル、魚ノ在リカラ飛行機デ以テ上カラ見レバ直グ分ル、ソレヲ無線電信ナリ無線電話ナリニ依ッテ報知スレバ、漁船ハ其處ニ行ッテ漁獲ヲスル、非常ニ收獲ガ多イノデアアル、斯ノ如キ學理的應用ノ下ニ漁撈ヲスル者ガ一方ニアッテ見タナラバ、以前ノ如キ僅ニ小サナ漁船デ以テ網ヲ下ロシ釣ヲ垂レルト云フヤウナモノデハ到底競争ハ出来ナイ、斯ノ如キ漁民ハ滅亡スル外仕方ガナイ、如何ナル事ガ必要デ有ルカト云フト、先ヅ今日デ申シテ見マスレバ高等小學、少クモ高等小學程度ノ理化的知識ト云フモノガ無ケレバ是ハ出来ナイコトデアアル、併ナガラ高等小學ト云フモノハ今日ハ義務デナイデ、町村ノ義務ニナッテ居リマセヌカラ、貧弱ナル町村ハ之ヲ施設ヲシナイ、從テ其町村民ト云フモノハ頗ル不幸ナル地位ニ陥ッテ社會ノ落伍者トナリ劣弱者トナル所ノ外ハナイノデアアル、之ヲ何ニ依ッテ救済スルカト云ヘバ即チ義務年限ヲ延長シテ、之ヲ義務トシテ是ダケノ教育ト云フモノヲ課シ、少クモ十三歳カラ十四歳ノ稍、事理ヲ解スルニ至ルマデ教育ヲ繼續スルコトニ依ッテ、初メテ是等ノ能力ヲ備ヘルコトガ出来ルト云フコトハ明カデアアル、其他商業上又ハ一切ノ産業上ニ於テ或程度、即チ今日以上ノ、即チ延長セラレタル教育ト云フモノヲ受ケズシテ、今ノ此文化ノ進ミ行ク社會ニ國民トシテ立ッテ國民タルノ義務ヲ盡シ、又個人トシテ其産業ヲ營ンデ社會ニ貢獻スルト云フコトハ、是ハ不可能デアラウト考ヘル、即チ農商務大臣ノ昨日ノ佐藤君ニ對シテノ御答辯モ矢張りソレ等ノ意味ヲ含蓄シテ居ルモノト私ハ考ヘル、然ラバ此事ハ唯教育ガカラ文部大臣ガスルダラウト云フダケデハ、是ハ出来ハシナイ、農商務大臣ガ産業ノ上カラシテ成ルベク此教育ノ

要求ト云フモノヲ充タシ、内務大臣ハ其他内治上ノ關係カラシテ之ヲ益々要求セラレ、總理大臣之ヲ統轄シテ、即チ今回政治壇上ニ大問題ヲ提ゲテ、此政治ヲ釐革シヤウト云フ此大抱負ヲ裏書キスル所ノ教育ノ施設ト云フモノガ無ケレバナラス、其教育ノ施設ハ多クアリマスケレドモ、國民ノ教育ヲ今日ノ程度ニ適應セシムベキ點マデ之ヲ引上ゲルト云フ所ノ施設ト云フモノガ無ケレバナラス、今日直チニ行フコトハ出来ナイ事情ガ有ルナラバ、之ヲ漸次ニ行ッテデモ、或時期ニ達シテ此理想ニ達スル、理想ト申ス程ノ事デアリマセヌケレドモ、或程度マデ達シ得ルト云フコトノ方針ガ定マッテ居ラナケレバ、唯暗夜ニ燈無クシテ道ヲ歩クガ如キ國民ハ状態ニ居ルノデス、ソコデ或ハ師範學校改善等ノ事モ、是モ種々御考ノ有ルコトデアッテ、爲サレタコトデ有リマセウケレドモ、私ハ是等ノ事ハ洵ニ小問題デ、必要ナコトデ有ルケレドモ、ソシナニ大騒ギラシナクテモ、出来ルコトナシ、現ニ岡田君ガ文政審議會ノ會員デアラレタ時モ、矢張り此義務年限延長ト云フ事ニ付テハ頻ニ御心配ニナッタノデアアル、必シモ師範學校カラヤラナケレバ出来ナイト云フ御説ハナカッタ、ソレカラ此世間デ謂フ軍事教育ト云フモノモ、即チ是モデス、岡田君ガ説明セラレテ、軍事教育ナント云フモノハ大シタモノデナイ、是ハ十九年以來ヤッテ居ル所ノ兵式教練デ、此兵式教練ト云フモノハ、是ハ體操科ノ一部デアアル、體操科ノ一部ヲ少シク有效ニシヤウト云ウテ、刷新ヲシタノデアッテ、サウ大シタコトデハナイ、文相自ラ言ハレルノデアリマスカラ、之ヲ教育上ノ大施設ト看做サレナイト云フコトハ、文相自ラ言明セラレテ居ル、サウシテ見レバ、我々ノ期待スル所ノ最モ教育上ニ抱負ヲ有セラレテ居ル岡田文相ガ其局ニ當ラレテ、尙ホ之ヲ何等ノ茲ニ抱負ヲ行フコトガ出来ナイト云フコトハ、主トシテ財政上ノ都合ニアルコトデアリマセウ、此財政整理ト云フコトガ、私ガ申スガ如クニ、無用ノ費用ヲ省イテ、有用ノ事ニ向ッテ進ムノガ眞ノ財政整理ノ意義デアアル、行政整理ノ意義デアアル、唯公債ノ募集ヲ縮メテ、租税ノ成ルダケ必要ノ起ラヌヤウニシヤウト云フダケデハ、是ハ國民ハ満足スルコトハ出来ナイノデ、其罪決シテ今日ノ當局者ニ在ル譯デアリマスマイ、事情ガ然ラシメタノデアリマスケレドモ、其事情ヲ蹴破ッテ、今日ハ其施設ヲ爲サレヌケレバナラス時デアアル、是ハ私ハ他日マタ豫算總會等ニ於キマシテ總理大臣、内務大臣、司法大臣等ニモ伺ヒタイコトガ多クアリマスケレドモ、今日御出席ニナリマシタ所ノ各大臣ニ關シタダ



ケノ質問ヲ此處ニ提出シテ、ソレゾレ御辯明ヲ願ヒタイト考ヘル、私ノ質問ハ是ダケデアリマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今、鎌田君ハ行政整理ト關聯セシメテ、通貨問題ニ付テ先ヅ以テ御質問ガアリマシタ、私ニ對スル御質問ノ要點ハ義務教育費ノ増額問題デアッタヤウデアリマスガ、其前提トシテ通貨問題ニ付テ御質問ガアリマシタニ依ツテ、先ヅ其點ヨリ大體御答ヲ致サウト思ヒマス、如何ニモ鎌田君ガ御指摘ニナリマシタ通り、我國ノ圓ノ價值ガ米貨ヨリハ餘程下落ヲシテ居ルト云フコトハ最モ憂慮スベキ事柄デアリマス、然ラバ圓ノ價值ノ下落ヲ致シテ居ル所ノ其原因如何ト申シマスレバ、是ハ由來ガ隨分久シイデアリマス、一朝一夕ノ故デアリマセヌガ、其主タル原因ハ一昨年ノ九月ニ於ケル所ノ大震災ニアッタコトハ、是ハ天下ノ等シク認ムル所デアリマス、然ラバ如何ニシテ此圓ノ價格ヲ回復スベキヤト云フ問題ニナリマス、一言ニシテ申シマスレバ、國際貸借ノ改善ニ依ルノ外ニハ、圓ノ價值ヲ回復スルノ途ガ無イト思ヒマス、然ラバ外國貿易ヲ始メト致シ國際貸借ノ關係ヲ改善スルニハ、如何ナル方法ヲ用フベキヤ、此問題ハ隨分重要デアリ、且ツ同時ニ複雜ナル問題デアリマス、從テ斯ノ如キ重要問題ヲ解決スルニ當ツテ、單リ政府ノミニ手ニ依ツテ行ヘルベキモノデアリマセヌ、是ハ國民モ亦同時ニ全力ヲ擧ゲテ、此重要問題ノ解決ニ努力ヲ致サナケレバナラヌ今日ノ情況デアリマス、即チ官民一致ノ大努力ヲ要スルノデアリマス、然ラバ政府トシテハ、如何ナル事ヲ致シタカ、又是カラドウ云フ事ヲスルカト云フ御質問デアリマスガ、政府ト致シマシテハ、此問題ノ解決ノ爲ノミデアリマセヌガ、他ノ目的モ持ツテ居リマスケレドモ、同時ニ國際貸借ノ改善ニモ資スル所アルベシトシテ施設イタシマシタ所ノ、第一著ノ事柄ハ、即チ行政整理デアリマス、殊ニ財政ノ緊縮デアリマス、其中デモ公債政策ノ改善デアリマス、政府ガ自ラ消費スル所ノ物資竝ニ自ラ需要スル所ノ努力ト云フモノヲ出來得ル限り増加スルコトヲ防ギ、且ツ出來得ベクンバ、是マデ需要シテ居ッタ所ノ物資勞力ニ對シテ、其需要ヲ節減スルコトヲ努ムル爲ニ、此度ノ財政ノ整理ヲヤッタノデアリマス、殊ニ公債政策ノ改善、即チ公債ノ募集ヲ極力減少イタシ、尙ホ一般市場ニ公募スルコトヲ避ケルト云フ方針ヲ執リマシタ所以ノモノハ、是マデノ公債政策ノ結果トシテ、民間ノ事業資金ヲ奪ヒ、延イテ財界ノ

整理ヲ妨ゲ、經濟產業各方面ニ及ボシテ居リマシタ所ノ惡影響ヲ出來得ル限リ之ヲ輕減セムコトヲ努メタ爲デアリマス、其結果トシテ程度ノ多少ハ兎ニ角、相當ノ財界ノ各方面ニ對シテ良好ナル影響ヲ及ボスデアラウト云フコトヲ希望ヲ致シ、且ツ期待ヲ致シテ居ル次第デアリマス、財界、經濟界、產業界ノ各方面ニ向ツテ良好ナル影響ヲ及ボシマヌナラバ、ソレガ應テ國際貸借ノ改善ニ資スル所以デアリマス、從テ圓價ノ回復ニ資スル所以デアルト確信ヲ致シテ居リマス、政府ガ圓價ノ回復ノ爲ニ、如何ナル施設ヲ爲シタリヤト云フ御質問デアラナラバ、私ハ先ヅ第一ニ此財政ノ整理緊縮ヲ以テ御答ヘスルノデアリマス、其次ニ直接ニ爲替ニ對シテ政府ガ行ッタ所ノ對策ハ、是ハ十四日ノ演說ノ際ニモ申上ゲマシタ通り、爲替相場ガ段々低落ヲ致シ、單リ低落スルノミナラズ、ソレガ安定ヲ失ッテ居ルト云フコトハ國家ノ爲ニ誠ニ憂フベキ現象デアリマシテ、其事ハ今日ノ經濟界ノ難問題デアリマス所ノ、或ハ貿易、或ハ金利、或ハ物價、其他諸般ノ經濟上ノ問題ニ對シテ、誠ニ容易ナラザル所ノ惡影響ヲ及ボスモノデアルト考ヘマシタ爲ニ、爲替相場ノ崩落ヲ防ギ、其安定ヲ期シマスルガ爲ニ、政府ハ適切有效ナル對策ヲ講ズルコトヲ昨年ノ暮ニ決定ヲ致シマシタ、十一月ノ下旬デアッタ記憶イタシマスルガ、之ヲ一般ニ向ツテ聲明ヲシタノデアリマス、其聲明ノ趣旨ハ、積極的ニ人爲ヲ以テ今日ノ如ク崩落ヲシテ居ル所ノ爲替相場ヲ釣上ゲルト云フ趣旨デアリマセヌ、寧ロ消極的ニ是レ以上ノ相場ノ下落ヲ防ギ、ソレト同時ニ相場ノ安定ヲ期スルト云フニアッタノデアリマス、其目的ヲ達スルガ爲ニ、然ラバ如何ナル事ヲ政府ガスルカト申シマスレバ、是ハ必要ニ應ジテ外國ニ持ッテ居リマスル所ノ我國ノ正貨ヲ拂下ゲルコトモスル、又更ニ必要ニ應ジテハ政府竝ニ日本銀行ガ内地ニ保有イシテ居リマスル所ノ正貨ヲモ現送スルコトスラ辭シナイ、サウ云フコトヲ發表聲明セラレタノデアアル、其聲明ノ結果竝ニ其他ノ原因モアッタデアリマセウガ、爾來、爲替相場ハ低イナガラ安定ヲ致シ、三十八弗二分ノ一ノ相場ヲ御承知ノ通り長イ間、持續ヲ致シ、最近ニ至ッテハ稍、騰貴イタシマシテ二十九弗ニナッテ居ルト云フノガ今日ノ現狀デアリマス、然ラバ何故、政府ハ更ニ進ンデ積極的爲替相場ヲ釣上ゲルト云フ對策ヲ講ジナイカ、ト云フ御疑ガ起ルカモ知レスト考ヘマスガ、是ハ餘程考慮スベキ問題デアリマス、從來……ドノ内閣ト云フコトハ申シマセスケレドモ、爲替相場ヲ積極的ニ釣上ゲルガ爲ニ正貨ノ拂下ヲ行ッタ歴史ハ、屢、我々ハ見聞ヲ

シテ居リマスルガ、而モ其ヤリ方ハ概ネ失敗ニ終ッテ居ル、何トナレバ爲替相場ノ回復ト云フコトハ、初メニ申上デマシタヤウニ、國際貸借ノ改善ニ俟タナケレバナラス、其國際貸借ガ改善サレズ、貿易ノ大逆調ガ繼續シテ居ルニモ拘ラズ、強ヒテ正貨ノ拂下ゲニ依ッテ爲替相場ノ釣上ゲヲ策セムトスル時ハ、一時ハ多少ノ效果ガ無キニシモアテズデアリマスケレドモ、其效果タルヤ、決シテ永續スルモノデアリマセヌ、從テ恰モ注射スルト同様ニ、其注射藥ノ效果ガ薄ラギマスレバ、直チニ爲替相場ハ元ノ如クニ低落ヲ致ス、是ハ從來ノ經驗ノ證スル所デアリマスカラ、此内閣ニ於テハ左様ナ事ハ致サナイ積リデアリマス、然ラバ爲替相場ヲ回復イタシ圓價ノ回復ヲ圖ルノ根本策ハ如何、是ハ極メテ平凡デアリマスケレドモ、同時ニ重要ナル所ノ根本策デアリマスル、即チ初メニ申シマシタ所ノ官民一致ノ努力ニ依リマシテ、成ルベク輸入ヲ抑へ、輸出ヲ奨メ、ソレニ依ッテ貿易ノ逆調ヲ緩和イタシ、其他國際貸借ノ關係ト相俟ッテ圓價ノ回復ヲ圖ル、爲替相場ノ回復ヲ圖ルト云フ外ニ執ルベキノ途ガ無イデアラウト思ヒマス、然ラハ如何ニシテ輸入ヲ抑制スルカ、如何ニシテ輸出ヲ奨メスルカト云フコトハ、是ハ洵ニムヅカシイ問題デアリマシテ、一朝一夕ニ唯一ツノ手段、ソレノミニ依ッテ此大目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思ヒマス、是ハ政府ト云ハズ、國民全體ガ、十分ニ目下ノ經濟界ノ真相ニ付テ了解自覺ヲ致シ、ソレニ依ッテ冗費ノ節約、勤儉力行ニ努メマシテ、成ルベク必要デナイ所ノ外國品ハ之ヲ購買シナイヤウニ、又出來得ル限りノ手段方法ニ依ッテ或ハ資本ノ蓄積、或ハ事業ノ合同、大量生産、機械ノ應用、労働能率ノ増進ト云フ如キ、種々ナル手段方法ニ依リマシテ、生産費ノ低減ヲ圖リ、サウシテ内國品ノ聲價ヲ高メ、海外ノ販路ヲ擴張シ、ソレニ依ッテ貿易ノ逆調ヲ緩和スルト云フ外ニ執ルベキ途ハ無イト思ヒマス、其大目的ノ爲カラ申シマスレバ、或ハ貧弱デアルト云フ御非難ガアルカモ知レマセヌケレドモ、大正十四年度ノ豫算ニ計上イタシテ御協賛ヲ求メテ居リマス事項ノ中ニ、農商務省ノ所管デアリマスケレドモ、重要輸出品共同組合、或ハ輸出組合ト云フ如キモノヲ法律ヲ以テ設ケマシテ、サウシテ輸出ノ獎勵ヲ圖ル必要ノ場合ニ於キマシテハ、爲替資金上ノ便宜ヲモ與ヘルト云フ考ヲ有ッテ居リマス、是ハ一ツノ例ヲ擧ゲタニ過ギマセヌケレドモ、其他輸入ノ抑制、輸出ノ獎勵ニ向ッテハ、常ニ怠ラズ政府ハ調査研究ヲ致シテ居リマスカラ、其研究ノ案ノ成ルニ從ヒマシテ、十分ナル所ノ施設ヲ致シタイ

ト考ヘテ居リマス、其次ニハ行政整理ノ目的ハ無用ヲ節シテ有用ヲ起スニアリ、斯様ニ仰セラレマシタガ、如何ニモ其通り、全然御同感デアリマス、併ナガラ其事柄ヲ最近ノ我國ノ財政ノ狀態ニ適應セムトスルナラバ、非常ナル困難ニ遭遇スルヲ發見スルノデアリマス、何故ト申シマスレバ、我國ノ財政ハ一時ハ随分膨脹ヲ致シマシタ、或ハ放漫ト云フ謗リヲ受ケタコトモアリマスルガ、最近ニ至リマシテ屢、行政財政ノ整理ガ行ハレテ居ルノデアリマス、其結果トシテ各省ノ經費ノ内容ヲ調査イタシテ見マスルト云フト、最早殆ド無用ト目スベキモノハ無イノデアリマス、絶對トハ申シマセヌガ極メテ少イノデアリマス、ソレ故ニ無用ノモノダケヲ節スルト云フヤリ方デキマスレバ、行政整理、財政整理ニ依ッテ節約シ得ベキ所ノ金額ト云フモノハ幾何モ有リマセヌ、ソコデ此度ノ豫算ヲ編成スル時ニ如何ナル方針ニ依ッテ行政、財政ノ整理ヲ致シタカト申シマスレバ、假令有用ナモノト認ムルモノデアリマシテモ、其程度ガ稍、不急ニ屬スルト考ヘマシタモノハ、已ムコトヲ得ズシテ之ヲ削除イタシタノデアリマス、サウシテ比較的二有用ノ程度ノ高イモノヲ殘シ、比較的二有用ノ程度ノ低イモノハ之ヲ削除イタシ、ソレニ依ッテ一億五千二百萬圓ノ整理節約ノ一般會計ニ於テ行ッタノデアリマス、其ヤリ方ニ對シマシテ隨分是ハ無理デアアル、斯ノ如キヤリ方ト云フモノハ隨分無理ナ數字デアルト云フ批評ヲ受ケタモノモアリマス、ソレ位ノ程度ニ於テ整理ヲ致サナケレバ、逆モ一億以上ノ整理ハ出來ルモノデアリマセヌ、大體、今日ノ財政ノ狀態ハ行政財政ノ整理ヲ致シ、ソレニ依ッテ或程度ノ剩餘金ヲ拵ヘル、或ハ一億圓、或ハ一億五千萬圓ト云フ如キ金ヲ餘シテ、サテ其餘ツタ金ト云フモノヲドノ方面ニドウ使フカト云フコトヲ考ヘテ居ルコトノ出來ルヤウナ悠長ナ財政デアリマセヌ、ソレダケノ財政ノ整理ヲ行フノハ、ソレヲ行ハナケレバ到底十四年度ノ豫算編成ガ出來ナイ、歳入歳出ノ均衡ヲ保ツコトガ出來ナイ、此行政整理ヲヤラズニ豫算ヲ編成セムトスルナラバ、何ト致シマシテモ募集ノ出來ナイ公債ヲ大イニ募集スルト云フ計畫ヲ立テマスルカ、然ラズンバ今日既ニ負擔ノ重イ所ノ此國民ノ負擔ノ上ニ向ッテ、更ニ相當ノ巨額ノ増稅ヲ行フニアラズンバ、大正十四年度ノ豫算ノ編成ハ出來ナイ、從テ將來ニ互ル所ノ財政計畫ノ立テヤウガ無イト云フ情況ニ立ッテ居ッタノデアリマス、ソレ故ニ行政財政ノ整理ニ依ッテ餘ツタ金ヲドウ使フカト云フニアラズシテ、歳入歳出ノ均衡ヲ保ツガ爲ニハドウシテモ是ダケノ整理ヲ行ハナケレバナラヌト

云フノガ、目下ノ財政ノ真相デアリマス、ソレ故ニ、十四年度ノ豫算編成ヲ致シマシテ御協賛ヲ求メ、豫算案ヲ御覽ニナリマシテ、如何ニモ是ハ新規事業ガ少イ、刻下有用緊切ナル所ノ事業ノ施設ガ、此豫算面ノ上ニ多ク現ハレテ居ナイト云フ感シテ御持チニナルコトハ、是ハ洵ニ己ムヲ得ナイ數デアリマス、政府ト致シマシテモ、積極的ニ國民民福ヲ増進スルガ爲ニ、新ニ施設スル方ガ宜シト考ヘタ仕事ハ澤山アリマス、ソレヲ一々豫算ニ計上シタイコトハ山々デアリマスケレドモ、ソレヲ行フダケノ餘裕ガ今日ノ財政ニハ有リマセヌ、ソレ故結果カラ見マスレバ、新規事業トシテ見ルベキモノガ餘リ澤山デアリマセヌ、アリマセヌガ、一ニ財源ニ乏シト云フ目下ノ財政ノ情況ガ之ヲ然ラシメタ爲デアリマス、茲ニ於テ鎌田君ノ御質問ノ要點タル所ノ教育費ノ問題ニ移リマスガ、小學校ノ教員ノ俸給ノ國庫負擔ノ増加ト云フ事ハ、御説ノ通り國論一致ノ要求ト看做シテ差支ハアリマセヌ、私自身ニ於テモ豫テ熱心ナル主唱者デアッタノデアリマス、自分デモ之ヲ熱心ニ主張イタシ、國論一致ノ要求ト認メテ居ッタモノヲ、何故ニ計上スルコトガ出來ナカッタノデアルカ、ソレハ唯今申シマシタ財政ノ狀態カラ來ルノデアリマス、此増額ヲ假令一千萬圓デモ二千萬圓デモ、十四年度ノ豫算ニ於テ實現ヲシタイと思ツタガ爲ニ、政府ハ相當ノ苦心ヲ致シマシタ、如何ニセム、財政ノ事情、之ヲ許シマセヌ、茲ニ於テ十四年度ニ於テ財政ノ都合上、之ヲ實現スルコトガ出來ナカッタケレドモ、大正十五年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ當リマシテハ、財政ノ情況ニ照シ、是ガ實現ニ向ッテ最善ノ努力ヲスルト云フコトヲ衆議院ニ於テモ議員ノ質問ニ對シテ答辯ヲシタ次第デアリマス、然ラバ其教育費ノ増額ノ實現ニ向ッテ努力ヲスルト言ッタ努力ノ目標ハ幾ラデアルカト云フ質問ガアリマシタカラ、ソレハ二千萬圓ヲ目標トシテ最善ノ努力ヲスルト云フ答辯ヲ致シテ置キマシタ、此席ニ於テモ繰返シテ其事ヲ私ハ言明イタシマス、然ラバ鎌田君ノ御話ニアリマシタ大正十五年度ニ於テ二千萬圓ノ増額ノ爲ニ最善ノ努力ヲスルト云フナラバ、即チ大正十四年度ニ於テ、ナゼ、ソレガ出來ナカッタノデアルカ、十五年度カラ出來ルモノデアアルナラバ十四年度カラ出來ル筈デハナイカ、十四年度ニ出來ナケレバ十五年度カラ出來ル譯ガナイ、斯ウ云フ意味ノ御話ガアリマシタガ、私ハ左様ニ考ヘマセヌ、十五年度ニ是ガ實現ニ向ッテ最善ノ努力ヲスルト云フコトヲ申シマシタノハ、是マデノ實蹟ニ依リマシテ、歲入ハ年々増加ヲ致シマスル傾向ヲ持ッテ居リマス、其從來ノ

實蹟ヲ考ヘマスト云フト、大正十五年度ニ於テハ十四年度ノ歲入豫算ニ計上シテアルモノヨリモ若干ノ増加ヲスルモノデアルト云フコトヲ推測スルコトガ出來ルノデアリマス、其推測ニ基イテ教育費ノ増額ニ向ッテ最善ノ努力ヲスルト云フコトヲ申シタノデアリマス、併ナガラ是ハ十五年度ノコトデアリマス、將來ニ互ル所ノ推測デアリマス、今日ニ於ケル所ノ現實ノ事實デハアリマセヌ、ソレ故ニ十五年度ニ於テハ是ガ實現ノ爲ニ努力ヲスルケレドモ、十四年度ニ於テハマダ、是ガ現實ニ具體化サレタ事柄デハナイ、其具體化サレタ事柄デナイモノニ向ッテ諸君ノ前ニ豫算ヲ編成シテ要求スルト云フ譯ニハ參リマセヌ、是ガ即チ十四年度ニ於テ之ヲ實現スルコトノ出來ナカッタ所以デアリマス、今日ノ財政狀態ニ於テハ十四年度ニ於テハ千萬若クハ二千萬ト云フ新ナル恒久財源ヲ發見スルコトハ出來マセヌ、十五年度ニ於テハ既往ノ實蹟ニ鑑ミ、十四年度ガ斯ウ云フ歲入ノ情況デアアルナラバ、經濟狀態ニ異常ナル變化ノナイ限りハ、十五年度ニ於テハ相當ノ增收アルベシト云フコトハ、凡ソ常識ヲ以テ推測スルコトガ出來ルノデアリマス、其推測ニ基イテ最善ノ努力ヲスル、併シ是ハ推測デアッテ今日ノ現實デハナイカラ、十四年度カラハ出來ナイ、斯ウ云フノデアリマス、然ラバ既往ノ實蹟ニ依レバ十五年度ニ於テ相當ノ増額ヲスル、歲入ガ増加スルト云フコトハ如何ナル實蹟デアアルカト云フ御疑念ガ起ルデアラウト思フ、御承知ノ通り震災ノ結果、大正十二年度竝ニ十三年度ニ於テハ歲入ガ急激ニ減少ヲ致シマシタ、併ナガラ此震災ノ創痕ガ癒エルニ從ッテ、震災ノ爲ニ一時減少シタル所ノ歲入ハ漸次復舊ヲ致シテ、少クとも震災前ノ歲入ニハ反ルベキ筈デアリマス、然ラバ震災ノ租税ノ收入ハ幾ラデアッタカト申シマスレバ、是ハ大正十一年度ノ決算額ヲ捉ヘル外ニハナイ、其大正十一年度ノ租税ノ收入ノ決算額ハ八億九千六百萬デアリマス、所ガソレニ對シテ大正十四年度ノ租税ノ豫算額ハ七億九千五百萬圓、一億百萬圓ダケ、マダ大正十一年度ノ決算額ニ對シテ減少シタル豫算ヲ組ンデアアルノデアリマス、尤モ其一億百萬ノ内、御承知ノ通り大正十二年度ニ於テ營業稅其他ニ於テ二千萬圓ノ減稅ヲ行ッタ、其二千萬ヲ差引キマシテモ、マダ八千萬圓バカリノ餘地ガアル、其餘地ニ向ッテ大正十五年度一年ダケニ於テ一舉ニシテ回復シ得ルヤ否ヤト云フコトハ多少ノ疑問ガアリマスケレドモ、少クとも其標準ニ向ッテ、即チ八千萬圓ノ餘地ニ向ッテ歲入ガ回復スベキ趨勢ニアルト云フコトハ、是ハ何人モ考ヘ得ル事柄デアリマス、

イマ一ツニハ昨年ノ特別議會ニ於テ此内閣ノ組ンダ追加豫算ニ於キマシテ、租税ノ收入ニ於テ、不成立豫算ニ對シテ新ニ五千萬圓ノ増加ヲ計上イタシテ、御協賛ヲ得タノデアリマス、ソレハ大正十三年度ノ實行豫算デアリマスルガ、其實行豫算ガ年度開始以來今日ニ至ルマデノ實蹟カラ判断イタシマスルト云フト、不成立豫算ニ對シテ五千萬増シマシタモノニ對シテ、實際ノ收入額ハ多少ノ增收ヲ告ゲルト云フ見込ガ立ッテ居リマス、其程度ハ無論年度閉鎖前デアリマスカラ明確ニ御話ヲスルコトハ出來マセヌガ、少クトモ豫算額ニ對シテ多少ノ增收ハアルヤウデアリマス、而シテ十三年度ノ豫算ニ對シテ此十四年度ノ租税ノ收入豫算額ハ三千二百萬ノ増額ヲ計上イタシテアリマス、是ダケノモノモ無論私ハ實收ガアルモノト信ジテ豫算ヲ組ンデアリマス、此勢ヲ以テ行キマスレバ、十五年度ニ於テ豫算ノ編成時ニ當ッテ、其租税ノ收入其他官業收入ニ於テ相當ナル所ノ增收ヲ期シ得ルデアラウト推測ヲスルノデアリマス、更ニ第三ノ根據ト致シマシテハ、此度ノ政府ノ豫算ノ編成ノ方針、即チ緊縮節約ノ豫算ヲ組ンダト云フコトノ爲ニ、經濟界ニ向ッテ良好ナル影響ヲ與ヘマシテ、其結果、十五年度ニ於テハ財界モ多少回復スルデアラウ、從テ國民ノ納税力モ多少回復ラヌルデアラウト云フ期待ヲ持ッテ居リマス、斯ノ如キ根據ニ基イテ、大正十五年度ノ豫算編成ノ當時ニ於テハ、財政ノ情況ニ照シテ、教育費ノ増額ノ實現ノ爲ニ最善ノ努力ヲスルト云フコトヲ聲明ヲ致シタ次第デアリマス、大體御答ヘ致シマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今、鎌田君カラ私ニ對シテ御質問ニナリマシタ點ハ、其御質問ノ點ハ極メテ簡單ニ御答ガ出來ルト思フノデアリマスガ、其前提ニ於テ、鎌田君ハ丁寧懇切ニ教育ノ極メテ重大デアルト云フコトヲ御陳述ニナッタノデアリマス、或ハ思想問題ノ善導ト云ヒ、赤化ノ防止ト云ヒ、或ハ又農村振興ト云ヒ、其他諸工業、産業ノ發達、皆其本ハ國民ノ智徳ノ進歩ニ待タスケレバナラスノデアルト云フ點ニ付テ、丁寧懇切ニ御述ベニナッタノデアリマス、此點ニ付キマシテハ恐ラク何人モ異議ノナイコトデアルト思フノデアリマス、斯ク申ス私ナドハ最モ鎌田君ト意見ヲ同ウスル者デアリマス、然ラバ斯ノ如ク教育ガ大切デアルノニ、此議會ニ於テ普通選舉ノ法律モ實施セムトシ、其他各般ノ大問題ヲ解決セムトスルニ當ッテ、教育ノ上ニ於テ何等施設スル所ノ無イノハ如何ナル譯デアアルカト云フコトニ歸著スルヤ

ウデアリマス、殊ニ此義務教育ノ延長ヲヤラスト云フコトハ、如何ナル譯デアアルカ、是ガ鎌田君ノ御尋ノ要點デアルト理解イタシタノデアリマス、私ハ此前段ニ付キマシテハ鎌田君ト全然同感デゴザイマスケレドモ、併シ此教育年限延長ノコトニ付キマシテハ、稍、鎌田君ト意見ヲ異ニシテ居ル點ガ有ルノデアリマス、私ハ是ハ今日初メテ申ス譯デナイ、文政審議會云々ト云フコトモ鎌田君モ御述ベニナリマシタガ、私ハ文政審議會ノ席ニ於テモ、之ヲ述ベテ居ル、義務教育年限延長ト云フ事ニハ、ドウシテモ二ツノ條件ト云フモノガ先立タナケレバナラス、第一ノ條件ハ何デアアルカト申シマスルト、此教員ノ準備デアリマス、今日ノ現在ニ於キマシテ、教員ノ配置ト云フモノハ甚ダ不十分デアリマシテ、本科正教員ノ資格ヲ有スル者ハ僅ニ全數ノ半分少シ餘ニ上ボッテ居ルニ過ギナイト云フ様ナ譯デ、全然、無資格ノ教員モ随分少ク無いノデアリマス、ドウシテモ此義務教育年限ヲ延長イタシマスルニハ、此教員ノ養成ト云フコトヲ先決問題ト致サナケレバナラス、若シ此養成ヲ怠リマシテ、唯義務教育年限延長ヲ致シマシタラバ、其教員ハ何レノ所カラ備ヒ來ルデアリマシセウカ、幸ニシテ其數ヲ充タスコトハ出來モシマセウト思ヒマスケレドモ、併ナガラ極メテ不完全ナ教員ヲシテ學級ヲ擔任セシメマシタラバ、是デハ決シテ教育ノ效果ヲ見ル譯ニ行カナイ、教育ト申スモノハ必ズ良教員ガ居ッテ生徒ヲ教育スルト云フコトニ依ッテ、其效果ヲ期スルコトガ出來ルノゴ、唯有合セニ其處ラニ居ル所ノ人ヲ備ヒ來ッテ教員ニ致シマシタ所ガ、是デハ決シテ義務教育年限ノ延長ヲ致シマシテモ、其效果ヲ見ルコトハ出來ナイノミナラズ、或ハ場合ニ依リマシテハ却ッテ人ノ子ヲ害フヤウナ結果ガ起ラストモ限ラス、故ニ教員ノ養成ト云フ事ガ義務教育年限延長ノ先決問題デアルト思フノデアリマス、イマ一ツノ問題ハ此市町村ノ負擔ノ問題デアリマス、今日市町村ノ負擔ハ随分窮迫ヲ致シテ居ルト云フコトハ一般ニ認メラレテ居ル事柄デアリマス、此窮迫ヲ致シテ居リマスル市町村ニ向ッテ、義務教育ノ年限延長ヲ命ジマシタト云ヒ、ドウ云フ結果ニナリマセウカ、市町村ハ彌、困難ヲ重ネテ參ル、デ、市町村ノ困難ヲ重ネルコトハ、教育ノ大切ナルニ顧ミテ尚ホ之ヲ忍ブベシト致シマシテモ、斯様ナル困難ナ場合ニ於キマシテ教育ヲ施シマシタト云ヒ、其教育ハ必ズ結果ガ宜シクナイ、ソレハドウ云フ譯デアアルカト申シマスルト、現ニ今日ニ於テモ動モスルト其弊ヲ見ルノデアリマスガ、市町村ニ於テハ財政困難ナ爲ニ動モスルト良教員ヲ驅逐

スルノ傾ガアルノデアリマス、成ルベク薄給ノ教員ヲ備ヒタイト云フヤウナ  
コトカラ致シマシテ、良教員ヲ排斥セムトスルガ如キ傾向ガ有ルノデ、今日  
ノ場合ニ於テ義務教育ノ年限延長ヲ實行イタシマシタナラバ、是等ノ弊害ガ  
益、盛シニナッテ参リマシテ、町村ノ教育ノ上ニ於テ少カラズ悪影響ヲ及ボス  
モノト思フノデアリマス、ソレ故ニ私ハ十四年度ノ豫算ニ於キマシテ此義務  
教育年限延長ソノモノハ著手ヲ致サヌノデアリマス、鎌田君ハ計畫ヲ立テテ  
向ウ所ヲ知ラシメタナラバ宜シイデアラウト云フ御趣意ノ御陳述ガアッタ  
ヤウニ思ヒマスガ、是ハ計畫ヲ立テルコトハ容易デゴザイマスルケレドモ、  
併シ實行シ得ル計畫デナケレバ、何モナラヌノデアリマス、徒ニ其計畫ヲ  
作リマシタ所ガ、效ノ無イモノデアアル、ソレ故ニ當局者ト致シマシテハ、左  
様ナ計畫ヲ立テルコトノ代リニ、先ヅ此義務教育年限延長ノ準備ト致シマシ  
テ、教員ノ養成ヲ圖ルト云フ事ニ全力ヲ用キタノデアリマス、此點ニ付テハ  
何等施設ヲスルコトガ無イト云フヤウナ鎌田君ハ、御非難ガアッタノデアリ  
マスルケレドモ、師範教育ノ大擴張、大發展ト云フコトハ、決シテ是ハ教育  
ノ上カラ見マシテ、平易ナ事デハナイト思フノデアリマス、此計畫ガ實現イ  
タシマシタナラバ、今日ヨリハ餘程良教員ガ輩出スルコトニナリマス、又數  
ニ於キマシテモ今日ヨリハ餘程増加ヲ致シテ參ルト云フコトニナルノデアリ  
マス、デ、斯様ニ致シテ準備ヲ整ヘマシテ、而シテ後ニ義務教育年限ノ延長  
ヲ圖ル積リデアリマス、併シ義務教育年限ヲ延長ヲ致シマシテ、強制的ニ年  
限ヲ延長イタシマセヌデモ、高等小學ノ獎勵ヲ圖リマシテ、成ルベク多數ノ  
生徒ヲ之ニ收容スルヤウニ努メテ参リマシタナラバ、規定ノ上ニ於テ強制ヲ  
致シマセヌデモ、自然、此義務教育年限ノ延長ト同様ノ結果ニ著々トシテ到達  
ハ致シテ居ル、唯今此處ニ數字ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、別段獎勵ハ  
致シマセヌデモ、今日ノ普通ノ状態ニ於キマシテモ、高等小學ノ生徒ト云フ  
モノハ日々ニ殖エテ参ッテ居ルノデアリマス、數年ノ後ニハ、強ヒテ強制ヲ  
致サヌデモ、過半ハ八年ノ教育ヲサレルト云フコトニナリ行クノデアリマス、  
ソレ故ニ私ハ思フノデアリマス、強制ト云フコトヨリハ一方ニ於テ教員ノ養  
成ニ努メテ準備ヲ爲スト同時ニ、高等小學ノ獎勵ヲ圖リマシテ、事實上ニ於  
テハ教育ヲ受ケル年限ヲ延長スルヤウニ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ  
次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ通告者ハ終リマシタ

○伯爵林博太郎君 唯今、議題ニナッテ居リマスル大正十四年度總豫算案竝  
各特別會計豫算及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、右ノ  
審査期限ヲ、本日ヨリ二十一日間、即チ三月十一日マデニ致スト云フ動議ヲ  
提出イタシマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ豫算審査期限ニ關スル動議ニ同意ノ諸君  
ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法  
廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、文部大臣岡田良平君

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法廢止法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
大正十四年二月十四日

衆議院議長 柏谷義三

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法ハ之ヲ廢止ス

附 則

本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今、上程イタサレマシタ一年現役小學校教員俸  
給費國庫負擔法廢止法律案提出ノ理由ヲ陳述イタシマス、從來、師範學校ヲ卒  
業イタシマシタ者ハ、一年現役ニ從事ヲ致シマシテ、一年間入營ヲ致シマシ  
テ、其間俸給ノ八割ヲ受取ッタノデアリマス、其俸給ノ八割ハ國庫ヨリ之ヲ給  
與イタスト云フコトニ相成ッテ居ッタノデアリマスガ、今回、整理ノ結果、此一  
年現役ノ期限ヲ五箇月ニ短縮スルト云フコトニ致シマシタノデ、最早、此俸給  
ノ支給スルコトヲ要セヌト云フコトニ相成リマシタノデ、此法律ヲ廢止イタ  
サムトスルノデアリマス、此廢止ヲ致シマスル理由ハ、五箇月ニ入營期限ガ  
相成リマスレバ、他ノ一年志願兵等ニ對スル權衡ノ上カラ見マシテモ全然、官

費ヲテ入營ヲ致シマシテ、其上ニ給與マデ受取リマシテ、尙ホ之ニ加フルニ俸給ヲ受取ルト云フノハ、他トノ權衡甚ダ宜シキヲ得ヌト云フ考カラ、之ヲ廢サウトスルノデアリマス、此師範學校卒業間際ノ者ハ妻子ヲ扶養スルノ責任モゴザイマセシ、恰モ師範學校ノ修業年限五箇月延長サレタト、殆ド同ジヤウナ結果デ有ルカラ、假令此間、俸給ヲ受ケマセヌデモ、此師範學校卒業生ニ於テ甚シキ苦痛ハ無イト、斯様ニ認メマシタ次第デアリマス

〔澤柳政太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ成清君ニ發言ヲ許シマス  
〔成清信愛君演壇ニ登ル〕

○成清信愛君 唯今、岡田文部大臣ノ御説明ニナリマシタ一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法廢止法律案ニ付キマシテ、曩ニ教育界ニ於ケル權威アル澤柳氏ノ數時間ニ互ル御質疑ノ御演説ト、之ニ對スル陸軍大臣竝ニ文部大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、此法律案ニ對シ、何レ本員ノ贊否ノ態度ヲ決定スル上ニ十分ナル資料ヲ得マシタノデ、茲ニ重ねテ色々ナ質疑ヲ爲ス必要ナキヤウニ思ハレマスガ、併ナガラ今日マデノ文部大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ、如何ニモ國民教育ニ關スル諸問題ニ付キマシテ、餘リニ輕ク取扱ヒニナルヤウニ思ハレマスノデ、至極簡單ニ一二ノ問題ニ付キマシテ質疑ヲ致シマシテ、文部大臣ノ御答辯ヲ煩ハス次第デアリマス、此廢止法律案ノ提出セラレタル根本ノ理由ハ、眞ニ年限短縮ノ必要上生レタルモノデアラズシテ、現内閣ノ一枚看板トモ見ルベキ財政緊縮ノ目的タル國費ノ捻出ヲナスガ爲ニ、犧牲ノ己ムコトヲ得ズ此法律案ヲ御提出ニナッタノデアルカ、又ハ今回現役將校ヲ教官トシ、軍事教育ノ實施ノ結果トシマシテ、青少年ニ軍事訓練ガ、文部大臣ノ御意見ノ如ク學生ニ徹底シ得ルガ爲ニ、師範學校卒業生ハ一年現役ノ必要ナシトノ理由ニ依リマシテ本案ノ提出ヲ見タノデアリマスガ、若シ前段ノ理由タル財政緊縮ノ結果ト致シマシテ、此法律案ガ生レマシタトスレバ、甚ダ遺憾デアリマスガ仕方ガナイトシマシテ、若シ後段ノ理由ニ依リマシテ廢止サレタト云フコトハ、洵ニ不合理ナモノデハナイカ、此點ニ付キマシテ御答辯ヲ願ヒタイ、次ニ現内閣ハ、刻下帝國ノ最モ急務タル、而モ全國民ノ熱望セル義務教育費國庫負擔ノ増額モナサズ、又茲ニ國民教育上直接深キ關係ヲ有シマスル小學校教員優遇ノ一端トモ申スベキ一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法、此法ヲ廢止スル法律案ヲ提出シテ、而シテ此僅少ナ

ル小學校教員優遇費ヲ削減シ、一方遞信省管内ニ於キマシテハ、從業員ノ優遇費トシテ多大ナル支出ヲ爲サルト云フコトデアリマスガ、甚シキ不公平ナルコトデハナイノカ、之ニ依ッテ全國小學校教員ノ精神ニ及ボス結果如何、文部大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、師範學校ノ卒業生ハ、以前ニ於キマシテハ、御承知ノ通り六週間現役制度ガ可ナリ長ク實行セラレタモノデアリマス、從テ今回軍事教育實施ノ結果、文部大臣ノ御説ノ如ク、學生ニ對シテ兵式訓練ガ十分ニ徹底シ得ルモノトシマシタナラバ、師範學校ノ卒業生ハ五箇月現役ノ必要ハナイ、寧ロ一步進ンデ從前ノ如ク六週間現役制度ニ在營期限ヲ短縮シ得ルモノニアラザルカ、此點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今御尋ガ三點デゴザイマス、第一ハ此師範學校卒業生ニ對スル所ノ國庫支出金ヲ廢止スルト云フコトハ行政整理ノ爲ニ國費ヲ捻出スル目的ノ爲ニ、已ムヲ得ズ實行シタノデアルカ、乃至ハ此青少年訓練デ能ク行届クコトニ成リマシタ其結果トシテ之ヲ短縮シ、從テ國庫ノ支出金ヲ廢止スルト云フコトニスルモノデアルカ、斯ウ云フコトデアッタヤウデアリマス、是ハ雙方デアルト御了解ヲ下スッテ宜シイノデアリマス、行政整理ト云フコトニ付キマシテハ、從來屢之ヲ實行イタスノデアリマスガ、動モスルト云フト、是ガ復舊イタシテ來マス、數年後ニハ復タ元ニ戻ルト云フコトガ、是マデ屢、例ヲ見ルノデアリマスガ、是ハ何故デアルカ、詰リ仕事ノ改善ヲ圖リマセズ、唯機關ダケノ縮小ヲヤリマシテ、一ツ機關ヲ以テ仕事ハ同様ナコトヲ繼續スル爲ニ、斯様ナル結果ガ生ズルノデアリマス、今回ノ規定ニ於キマシテハ、努メテ斯様ナル弊ヲ避ケテ、殊ニ師範學校ノ關係ニ於キマシテハ、之ヲ避ケルノデアリマス、唯百萬圓ヲ削減イタスト申シテモ、唯削減イタスノデハナイノデ、即チ削減スルガ爲ニハ此師範學校ニ於ケル所ノ青少年ノ訓練、現役將校ヲ用キマシテ、兵式操練ノ改善ヲ圖ッテ參リマシテ、其結果一年ノ在營ヲ致シマセヌデモ、五箇月デモ宜イ、斯ウ云フ見込ヲ付ケマシテ、在營年限ヲ短縮イタスノデアリマス、既ニ之ヲ五箇月ニ短縮スルトキハ、是マデニ對スル俸給ノ八割ヲ支給スルト云フ事ハ、是ハ餘リ他トノ權衡ヲ失スルト云フコトニナリマスルカラ、俸給ノ支給ト云フ事ハ停止スルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ政府ハ義務教育費國庫負擔額ヲモ増額セズ、又斯ノ如ク教員優遇ノ費用デアッタモノヲ削減

スル、遞信省現業員ノ如キハ、少カラズ費用ヲ出シテ之ヲ優遇スルニ拘ラズ  
ス様ナル事ヲシテ、教員ノ精神上ニ於ケル結果如何、斯ウ云フ御尋デアッタ  
ノデアリマス、是ハ精神上ニ於キマシテハ、私ハ決シテ師範學校卒業生ハ不  
滿ヲ感ズルモノデハナイト信ジマス、何トナレバ從來一年入營ヲ致シテ居ル  
ノデアリマス、然ルニ今回ノ改正ニ依リマシテ、是ガ五箇月ニ短縮セラレ  
ノデアリマス、他ノ者ハ皆一年志願兵、自費ヲ以チマシテ一年間入營ヲ致サ  
ナケレバナラヌノニ拘ラズ、此師範學校卒業生ハ全然官費ニ依リ、オマケニ  
假令金額ハ少クアリマシテモ、給與マデ受ケテ居リマシテ、サウシテ僅カ五  
箇月間退營スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、是ハ餘程特別ノ優遇ト見  
テ宜シイト思フ、是ハ小學校教員ハ精神上ニ於テ決シテ自分達ガ虐待ヲ受ケ  
ルトカ何トカ云フヤウナ感ジハ、之ヲ起サヌダラウト信ズルノデアリマス、尙  
ホ此上ニモ俸給ガ貫ヒタイト云フコトハ、餘リ是ハ多キヲ望ミ過ギルコトニ  
ナリハ致サスカト思フノデアリマス、ソレカラ次ノ御尋ハ、以前ハ六週間現  
役デアッタノデアルカラ、此五箇月ノ入營ト云フコトモ、或ハ其必要ガ無イデ  
ハナイガ、寧ろ五箇月ヲ前ノ六週間現役ニ復舊スルコトガ出來ヌカト云フ御  
尋デアリマス、是ハ六週間現役ト云フコトハ多年實行シテ居リマスガ、其成  
蹟ガ甚ダ良クナイト云フコトガ證據立テラレタノデアリマス、入營イタシマ  
シタ初メノ五六週間ト云フモノハ、今マデノ境遇ト非常ニ違ヒマスルカラ、  
入營イタシタ者ガ非常ニ是マデノ境遇ト違フ所カラ、或ハ窮屈ニ感ジ、苦痛  
ヲ感ズルト云フヤウナコトニナル、是ハ六週間、七週間ト段々延ビテ參リマ  
スニ從ッテ、初メテ此兵營ノ生活ニ慣レテ、却テ此規律正シイ兵營ノ生活ガ  
喜バレルト云フコトニナルノデアリマス、ケレドモ此六週間現役ニ於キマシ  
テハ、マダ其慣レナイ先キ、唯苦痛ニ感ジテ居ル場合ニ退營サシテシマフ  
ノデアリマスカラ、入營中ニ餘リ兵營ト云フモノニ對シテ好イ感ジヲ持タヌ  
ト云フ結果ガアルノデアリマス、ソレ故ニ六週間現役ト云フモノハ甚ダ成蹟  
ガ宜シクナイト云フコトニ、結論サレマスノデアリマス、故ニ之ヲ一年ニ延  
長イタシタノデアリマス、併シ此青少年訓練ノコトガ、尙ホ一層能ク行届キ  
マシテ、殊ニ師範學校デ、體操ノ時間ナドモ、他ノ學校ヨリハ多ク致シテア  
ルノデアリマスカラ、現役將校ノ力ニ依リマシテ、十分ニ效果ヲ擧ゲ得ルニ  
至リマシタナラバ、此五箇月ヲ更ニ一箇月クラキ短縮シ得ルカト云フ望ハ有ッ  
テ居ルノデアリマス、併シ是ハ實際ニヤッテ見マセスケレバ、マダ是モ斷言ス

ルコトハ出來マセヌデアリマスガ、免ニ角ソレ以下ニ短縮スルト云フコト  
ハ、ソレハ宜シクアルマイト感ジテ居リマス  
○議長(公爵徳川家達君) 他ニ通告者ガゴザイマセヌ、澤柳君  
○澤柳政太郎君 簡單デアリマスカラ、此席カラ致シタイ……此法案ガ衆  
議院ニ上程セラレタ時ニ、文部大臣ハ、師範學校ヲ卒業シタル者ハ、直チニ  
兵役ニ就イテ、即チ五箇月ノ在營期ヲ終ッテ後ニ小學校教員ニ任命スル積リ  
デアルト云フコトヲ御話ニナッタノデアリマスルガ、ソレニ付キマシテ世間  
ニハ幾多ノ非難ガ起ッテ、サウナレバ身體ガ薄弱ノ爲ニ召集サレナカッタ者  
ガ、卒業ノ翌日ヨリ就職シテ、或ハ恩給ノ年限デアルトカ、年功加俸年限等ニ  
加算サレルコトニナルガ、此兵役ニ就ク者ニ於テハ此不幸ヲ見テ、甚ダ不公  
平デアルト云フヤウナ議論ガ出テ來テ、私ノ手許ナドモ其最初ノ御言明ヲ  
基礎トシテ、反對ノ意見ナドヲ印刷シテ寄越シタ者ガアルノデアリマスルガ、  
其後承リマスレバサウハシナイ、矢張り師範學校ヲ卒業シタナラバ、直チニ  
小學校教員ニ任命シ、サウシテ在役イタスノデアルト云フコトニ、御訂正  
ニナッタヤウニ承ルノデアリマスガ、果シテ左様デアアルカドウカラ、ハッキリ  
承知イタシタイト思フノデアリマス  
〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕  
○國務大臣(岡田良平君) 唯今、御陳述ノ前段ノ理窟ニ付キマシテハ、私ハ  
少シク疑ヲ存スルノデアリマス、身體ガ薄弱デ兵役ヲ免レタ者ノ方ガ却テ利  
益ニナル、ソレダカラ不公平ダト、斯ウ云フ論デアリマス、是ハ一年志願兵  
ニ致シマシテモ、或ハ二年現役ニ致シマシテモ、身體ノ薄弱ナ者ハ兵役ヲ免  
ル、ノデアリマス、見様ニ依ッテ此方ガ得ヲスル、身體ノ強壯ノ者ガ損ヲスル、  
斯ウ云フ見様ガ出來ルカモ知レマセヌ、併ナガラ何人モ身體ノ薄弱ニシテ兵  
役ヲ免ルルコトヲ希望スル者ハナイノデアリマス、何レモ身體ガ強壯デアッ  
テ、兵役ヲ勤メ得ルト云フコトヲ皆光榮ト致スノデアリマス、ソレデアリマ  
スカラ身體薄弱ノ爲ニ起ル不公平ト云フコトハ、是ハ私ハ議論ニナラヌト思  
フノデアリマス、併シ此小學校教員ノ任命ノ時期ニ付キマシテハ、當初私ハ  
學校ヲ卒業スルト、直チニ入營セシメマシテ、退營ノ後ニソレゾレ指定ヲ致  
スト云フコトヲ申シタノデアリマス、然ルニ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ、  
段々各委員ノ希望等モ出マシタノデ、當局者ニ於キマシテハ篤ト研究モ致  
シ、打合セテ致シマシタ結果、是ハ改メタノデアリマス、即チ師範學校ヲ卒

業スレバ、直チニ之ヲ教員ニ任命イタシマス、教員ノ肩書ヲ持ッテ兵營ニ這入ル、斯ウ云フコトニ致ス積リデアリマス

○澤柳政太郎君 ハッキリ御答ヲ得マシテ大變ニ満足ヲ致シマス、サウ致シマスルト師範學校ヲ卒業シタル者ハ、直チニ市町村立小學校ニ任命サレルノデアリマス、官吏デアレ、准官吏デアレ、若クハ公吏デアレ、其任命ヲ受ケマシタナラバ、謂ハバ俸給ヲ受ケル權利ガソコニ生ズルト思フノデアリマス、俸給ノ辭令ハ任命ノ辭令ト共ニ直チニ下付サレルノデアラウト思フノデアリマス、是ガ爲ニハ此在營中、俸給ヲ支給セスト云フコトデアリマシタナラバ、特別ノ法令ヲ御設ケテナッテ、一年現役兵デ在營スル者ハ在營期間ノ間、俸給ノ支給ノ停止スルト云フヤウナ法令ヲ、特別ニ御制定ニナルヨリ外ニ仕方ガナイカト思フノデアリマス、私ハ在職者ト云フ者ハ俸給ヲ受クルノハ當然ノ事デアレ、休職中ニ於キマシテモ、官吏ニ於テモ小學校教員ニ於キマシテモ、俸給ノ幾部分ヲ支給シテ居ルノデアリマス、小學校ノ教員ニ付キマシテモ、施行規則ノ五十三條ニ、休職者ニハ其休職中ハ俸給ノ三分ノ一ヲ支給ストアルノデアリマス、ノミナラズ、此一年現役兵ノ俸給ヲ受ケテ居ルノハ、ドウ云フ條規ニ依ッテ受ケテ居ルノカ、當然受ケルノデアリマス、ソレ故ニ施行規則ノ中ニ於テハ、市町村立小學校正教員ニシテ徵兵令第十四條ノ規定ニ依ッテ一年現役兵トシテ服役スル者ハ其服役中、當分俸給ノ十分ノ二ヲ減ズル、俸給ノ八割ヲ給スルトハ書イテナイノデアリマス、俸給ノ全額ヲ受クルノガ當然デアアルケレドモ、在役中ニハ陸軍給與令ニ依ル給與モアルカラシテ、其十分ノ二ヲ減ズルト云フコトガ本則トシテ書イテアルノデアリマス、抑、今上程セラレマシタ此案ハ、即チ茲ニアルガ如クニ一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法デアリマス、小學校ノ俸給ト云フモノハ市町村ガ之ヲ負擔スルト云フコトガ現在ノ原則デアアルノデアリマス、故ニ斯カル教育費國庫負擔法ニ於キマシテモ、國庫ガ負擔スル所ノ金ハ教員ノ俸給ニ充テルトシテアリマスゲレドモ、此金ト云フモノハ國庫ヨリ市町村ニ交付スルノデアリマス、市町村ガ小學校ノ教員ノ俸給ヲ支辨イタシテ居ルノデアリマス、デ此國庫負擔法ニ於キマシテモ、國庫ハ此金額ヲ市町村ニ交付スルノデアリマス、唯市町村ガ小學校ノ教員ニ給スル所ノ俸給ヲ自分ノ經濟ヨリ……自分ノ經濟ニハ是ハナリマスルケレドモ、町村費ヨリ出スニ及バナイ、ソレニ相當スル金額ハ國庫ヨリ交付サレルト云フコトデアアルノデアリマス、是ハ私

ハ當然ノコトデアラウト思フノデアリマスルガ、議論ニ涉リマスカラ、先刻此演壇ニ御述ベニナッタコトニ付テハ、討論ノ場合ニ申シタイト思フノデアリマスガ、免ニ角、俸給ヲ支給セスト云フコトデアリマシタナラバ、特別ナル法令ヲ出シテ、此一年現役兵ハ小學校教員ニ在職シテ居ルモノデアレ、原則トシテ俸給ヲ支給スベキデアアルケレドモ、在營中ハ俸給ヲ支給シナイト云フ特別令ヲ御制定ニナラナケレバ出來ナイコトト思フノデアリマス、斯ノ如キ特別ナル規定ヲ、小學校教員ノ職務ヲ完全ニ盡スガ爲ニ、五箇月ノ間在役スルコトヲ要スルト云フ其事ノ爲ニ、斯カル俸給支給ニ關スル……殆ド外ニハ例ガ無イト思フノデアリマスルガ、サウ云フヤウナ特別令ヲ設ケルト云フコトガ果シテ如何ナル影響ヲ及ボスモノデアルカ、是等ニ付テハ今論ジマセヌケレドモガ、サウ云フヤウナ特別令ヲ外ニ御制定ニナル御考デアリマスカ、ソレヨリ外ニ仕方ガナカラウト思フノデアリマス、若シ此法令ガ大正十年ニ出ナカッタナラバ、俸給金額ハ市町村ガ負擔スル、是ハ市町村ガ負擔シナイデ、國庫ガ負擔シテヤルゾト云フ法令デアリマシテ、此法令ニ依ッテ小學校教員ガ俸給ノ全額若クハ八割ヲ支給セラレタノデハナイノデアリマス、俸給ヲ小學校教員ガ得ルト云フコトハ一般ノ原則ト云フカ、通則ト云フカ、私ハ其名ヲ知りマセヌケレドモ、當然得ル譯デアリマス、ソレ故ニ唯今申シタ如クニ八割ヲ給ストシテナイ、十分ノ二ヲ減ズルトシテアルノデアリマスカラ、今廢止セムトシテ提出セラレタ所ノ此法案ハ、國庫ガ其費用ヲ負擔シテ町村ニ交付スルゾト云フ内容ノ法案デアアルノデアリマスガ、其點ニ付テ當局ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今ハ色々御尋デアリマシタガ、無論是ハ俸給ノ規定ヲ改正スルノデアリマス、俸給ト云フモノハ必ず全額ヲ支給セニヤナラヌト云フ理窟ハナイ、休職ノ時ハ三分ノ一ヲ支給スルトカ、或ハ或場合ニハ俸給ヲ支給セズト云フヤウナコトハ、他ニ幾ラモ例ガアルノデアリマス、是ハ一向不思議ハナイノデスガ、何レサウ云フ規定ハ設ケナクチャナリマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法廢止法律案特別委員

伯爵 松本 宗隆君 大久保利武君 福原鎌二郎君



男爵 南岩倉 具威君 男爵 千秋 季隆君 澤柳 政太郎君  
南 弘君 永田 秀次郎君 馬場 鉄一君

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、教育改善及農村振興基金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

教育改善及農村振興基金特別會計法案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月十四日

衆議院議長 粕谷 義三  
貴族院議長 公爵德川家達殿

### 教育改善及農村振興基金特別會計法

第一條 教育改善及農村振興基金ヲ置キ其ノ歲入歲出ハ一般ノ會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第二條 造幣局資金ノ内一億三千萬圓ハ之ヲ本基金ニ繰入ルヘシ

第三條 本基金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ師範教育ノ改善及農村産業ノ振興ニ必要ナル費途ニ之ヲ使用ス

第四條 第二條ノ規定ニ依リ繰入レタル金額ハ本基金ノ元資金トシ之ヲ費消スルコトヲ得ス

第五條 本基金ハ國債ヲ以テ之ヲ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ其ノ利殖金ハ之ヲ基金ニ編入スヘシ

第六條 本基金ヲ使用セムトスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ歲入ニ組入レ一般ノ歲出トシテ拂出スヘシ

第七條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 本基金ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル支出殘額ハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

### 附 則

本法ハ大正十四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 茲ニ議題トナリマシタ教育改善及農村振興基金特

別會計法ニ付テ大體ノ説明ヲ申上ゲマス、造幣局ノ特別會計ニ於ケル益金ハ、大正十三年度末ニ於テ約一億八千餘萬圓ニ上ボル見込デアリマス、其中、約五千餘萬圓ハ同會計ノ資金トシテ保留スルコトヲ要スル額デアリマシテ、之ヲ差引キ一億三千萬圓ハ他ノ費途ニ使用スルコトヲ得ベキ金額デアリマス、元來、此餘裕金ハ補助貨幣ノ改鑄ニ依ッテ生ジタルモノデアリマシテ、斯ノ如キ餘裕金ハ其出來マシタ所ノ原因ニ鑑ミマシテ、成ルベク之ヲ一般ノ經費ニ使ヒマセヌデ、特別基金トシテ保留スルヲ以テ最モ妥當ノ措置デアルト考ヘマス、而シテ該基金ハ之ヲ有利ニ運用イタシマシテ、其利殖金ハ各種ノ必要ナル施設ノ中、特ニ緊急ニシテ且ツ普遍的ナル師範教育ノ改善及農村ノ振興ニ要スル費途ニ充用イタシマシタラバ、最モ時宜ニ適ヒ、且ツ本基金ヲ最モ能ク活用スル所以デアルト認メマシテ、本特別會計法案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

教育改善及農村振興基金特別會計法案特別委員

子爵 前田 利定君 犬塚 勝太郎君 荒川 義太郎君

男爵 藤村 義朗君 阪本 鈺之助君 高田 早苗君

志村 源太郎君 宮田 光雄君 山田 劍君

○議長(公爵德川家達君) 日程第五、公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、岡田文部大臣

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月十四日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長 公爵德川家達殿

公立學校職員年功加俸國庫補助法中左ノ通改正ス

第一條中「公立ノ中學校、高等女學校及實業學校」ヲ「公立ノ高等學校尋常科、中學校、高等女學校、實業學校、盲學校、聾啞學校及實業補習學校教員養成所」ニ改ム

附 則

本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 現行ノ公立學校職員ノ年功加俸國庫補助法ニ依リマスレバ、公立ノ高等學校尋常科ノ教員、公立ノ盲學校聾啞學校職員及公立實業補習學校教員養成所教員ニハ年功加俸ヲ支給イタサザルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、然ルニ是等ノ者ニモ他ノ中等諸學校ト同様ニ年功加俸ヲ支給スルノ必要ガアリマスルノデ、別ニ之ニ要スル豫算ヲ要求イタシテ居ルノデアリマス、從テ之ニ伴ヒマシテ此改正法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ日程第三ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無ケレバ日程第六、第七ハ一括シテ議題ト致シ、説明ヲ煩ハシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、朝鮮鐵道用品資金會計法案、第七、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

朝鮮鐵道用品資金會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月十四日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮鐵道用品資金會計法

第一條 鐵道用品ヲ購入貯藏及製作修理シ朝鮮鐵道ノ運輸營業及建設事業ノ需用ニ應スル爲朝鮮鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 朝鮮鐵道用品資金ハ大正十四年四月一日ニ於テ朝鮮總督府ノ保管ニ歸スル元朝鮮鐵道用品資金ノ額ニ相當スル鐵道用品ノ貯蓄材料ヲ以テ

之ニ充テ尙朝鮮總督府特別會計ヨリ漸次繰入レテ三百萬圓トス

第三條 本會計ハ鐵道用品ノ賣拂代及修理代並附屬雜收入ヲ以テ歳入トシ鐵道用品ノ購入代、製作費、改製費及修理費並附屬諸費ヲ以テ歳出トス

第四條 本會計ノ決算上生シタル過剩金ハ之ヲ同年度朝鮮總督府特別會計ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第五條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本會計ノ經營ニ妨ナキ限り一般ノ需用ニ應シ機械其ノ他ノ物品ノ製作修理ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ本會計ニ屬スル用品ヲ以テ其ノ材料ニ充ツルコトヲ得

附 則

本法ハ大正十四年度ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月十四日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮私設鐵道補助法中左ノ通改正ス

第五條中「三百萬圓」ヲ「四百五十萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 初メノ日程ニ付キマシテ私ヨリ説明ヲ申上ゲマス、朝鮮官設鐵道ノ建設改良保存及運輸並ニ其附帶ノ業務ハ、最初、朝鮮總督ガ管理經營イタシテ居リマシタガ、大正六年七月三十一日以降ハ其經營ヲ南滿洲鐵道株式會社ニ委託シテ居ルノデアリマス、然ルニ朝鮮ノ官設鐵道ノ經營ハ朝鮮ニ於ケル施設ノ方針カラ考察シマシテ、再ビ朝鮮總督府ニ於テ直接ニ當ルコトニ致シタイト考ヘマス、恰モ南滿洲鐵道株式會社トノ委託經營ニ關スル細目協定モ大正十四年度カラ是ガ更改ヲ要スルコトニナッテ居リマスノデ、大正十四年三月三十一日限り是ガ委託ヲ解除シテ、其經營ヲ朝鮮總督

府ニ復歸セシメタイト思ヒマス、然ルニ元來、鐵道ノ運輸營業及建設事業ヲ營ムニ付キマシテハ、材料等ノ需要モ巨額ニ上ボリマス爲ニ、他ノ國有鐵道經營ノ場合ニ於ケルト同様、鐵道用品ノ購入、貯藏及製作、修理ヲ爲スタメ特別ノ資金ヲ補充シ、其歲入歲出ヲ特別ニ經理スルコトハ、最モ經濟的デアルト同時ニ、此種事業經營上、必要ナルコトト存ズルノデアリマス、依テ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

〔政府委員濱田恒之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(濱田恒之助君) 第七日程ノ朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、朝鮮ニ於ケル産業ノ開發、交通ノ改良ノ爲ニ私設鐵道ノ延長、補給ノ必要ナル事ハ申上ゲル迄モナイト存ジマス、ソレニ付キマシテ從來、朝鮮總督ニ於キマシテハ此補助法ニ依リマシテ私設鐵道ノ延長ヲ補助助成シ來ッタノデゴザイマス、然ルニ此補助法ニハ其補助額ニ制限ガ有リマス、即チ毎年ノ補助總額ハ三百萬圓ヲ超過スルコトヲ得ナイコトニナツテ居リマスノデゴザイマス、然ルニ段々私設鐵道ガ延長シテ來マシタ結果、今日ニ於キマシテハ最早其餘裕ガ無クナツタノデゴザイマス、將來更ニ是等ノ延長ハ洵ニ好マシイ事デゴザイマスカラ、其場合ニ處セムガ爲ニ三百萬圓ノ制限ヲ四百五十萬圓ト改正ヲ致シテ將來ノ施設ニ備ヘヤウト致スノデゴザイマス、右様ナ次第デゴザイマスカラ御審議ノ上ニ速ニ御協贊アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今説明セラレマシタ兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

朝鮮鐵道用品資金會計法案外一件特別委員

伯爵 酒井 忠正君	男爵 山根 武亮君	平井 晴二郎君
内田 嘉吉君	男爵 藤堂 高成君	室田 義文君
佐竹 三吾君	土田 萬助君	田中 清文君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第八、裁判所構成法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

裁判所構成法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
大正十四年二月十四日  
衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第十四條中「五百圓」ヲ「千圓」ニ改ム

第七十一條ノ二中「司法省參事官」ヲ「司法書記官」ニ改ム

第七十七條 削除

第七十九條中「及第七十七條」ヲ削ル

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前裁判所ノ受理シタル訴訟ニ付テハ管轄ニ關スル從前ノ規定ヲ適用ス但シ本法ニ依リ其ノ裁判所ノ管轄ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

判事又ハ檢事タル資格ヲ有スル司法省參事官ノ本法施行前ニ於ケル在職ハ裁判所構成法第六十九條乃至第七十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ判事ノ在職ト看做ス

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小川平吉君) 裁判所構成法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ説明イタシマス、本改正案ノ第一ハ區裁判所ニ於ケル民事ノ裁判ノ權限ヲ擴張イタシマシテ、現今、訴訟物ノ價格五百圓迄トアルヲ千圓迄ニ上ボシタイト云フノガ第一デアリマス、此訴訟物ノ價格ハ當初、區裁判所ノ權限ニ二百圓迄トアリマシタノヲ大正二年ニ現行法ノ如ク五百圓ト改正イタシマシタ、其後、時勢ノ變遷ニ伴ヒマシテ今日ハ最早千圓迄ノ裁判ノ權限ヲ與ヘルノハ、事務ノ簡捷ノ爲ニモ、又一般ノ人民ノ便利ノ爲ニモ、必要デアルト考ヘマシテ、即チ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、次ハ控訴院、大審院ノ判檢事任用ニ關スル規程ノ中、司法省參事官トアリマシタノヲ、參事官ガ廢止セラレテ書記官ト相成リマシタル結果、之ヲ改メテ即チ書記官ト致シマスノガ本案デゴザイマス、其次ニハ恩給法改正ノ結果、第七十七條ガ不用ニ相成リマシタカラ之ヲ削除シタイト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、何卒御審議ノ上、協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

裁判所構成法中改正法律案特別委員

- 伯爵 勸修寺 經雄君 子爵 秋元 春朝君 子爵 板倉 勝憲君
- 河村 讓三郎君 男爵 岩倉 道俱君 男爵 二條 正麿君
- 安立 綱之君 西久保 弘道君 大村 彦太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、遠洋漁業獎勵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年二月十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 粕谷 義三

遠洋漁業獎勵法中左ノ通改正ス

第三條但書ヲ削ル

第五條 主務大臣ハ遠洋漁船検査規程ニ定ムル構造ニ適合シタル日本船舶ヲ新造シ又ハ日本船舶ニ新造ノ機關、副漁具ヲ据附ケ若ハ新造ノ保藏設備、無線電信裝置、無線電話裝置ヲ施設シタル船舶所有者ニ對シ左ノ區別ニ從ヒ漁船獎勵金ヲ下付スルコトヲ得但シ計畫總噸數六十噸以上ノ船舶ニ在リテハ第一號乃至第三號ノ規定ニ拘ラス其ノ船體、機關及屬具ノ評價額ノ十分ノ二以內ノ漁船獎勵金ヲ下付スルコトヲ得

一 船體總噸數每一噸

鋼製 六十圓以內  
木製 四十五圓以內

二 蒸汽機關實馬力每一馬力

二十二圓以內

三 發動機關純馬力每一馬力

四十圓以內

四 保藏設備、無線電信裝置又ハ無線電話裝置 評價額ノ十分ノ三以內

五 副漁具 評價額 十分ノ三以內

主務大臣ハ漁船ノ改良ニ關シ適當ト認メタル設計ニ依リ日本船舶ヲ新造シ又ハ改造シタル船舶所有者ニ對シ其ノ船舶新造費又ハ改造費ノ三分ノ

一以內ノ漁船獎勵金ヲ下付スルコトヲ得

前項ノ船舶新造費又ハ改造費ハ保藏設備、無線電信裝置、無線電話裝置及副漁具ノ新造費又ハ改造費ヲ包含ス

同一ノ船舶ニ付第一項及第二項ノ漁船獎勵金ヲ併セ下付スルコトヲ得ス第六條第一項ヲ削ル

第十一條第一項但書ヲ削リ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

主務大臣ハ必要ト認メタル場合ニ於テ第一條ニ依ル豫算定額中ヨリ公共團體其ノ他ノ營利ヲ目的トセサル法人ニ對シ遠洋漁船船員ノ養成又ハ遠洋漁業者若ハ海外出漁者ノ利益増進ノ爲必要ナル費用ノ全部又ハ一部ヲ下付スルコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高橋是清君) 本案提出ノ理由ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ致シマス、現行ノ遠洋漁業獎勵法ニ於キマシテハ主モニ噸數六十噸以下ノ漁船ノ建造ニ對シマシテ獎勵ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今後ハ水産物ノ生産増加ヲ圖リマス爲ニハ、尙ホ遠ク未開ノ漁場ヲモ開發スル必要ガアリマス、從テ從來ノ船ヨリモ大キナ大型ノ漁船ノ建造ヲ獎勵シテ行カネバナリマセヌ、同時ニ今後益々遠洋出漁ヲ獎勵イタシマスル目的ヲ以テマシテ、十四年度ノ豫算ニ於テハ其獎勵費ヲ増加シテ、十三萬九千五百五十圓ヲ大型汽船ノ獎勵費トシテ計上シテアリマス、之ニ依リマシテ本法ニ改正ヲ加フル必要ヲ生ジタノデアリマス、同時ニ此機會ニ於テ從來ノ實蹟ニ鑑ミテ、不便ト感ズル點ヲ併セテ改正ヲ致シタイト云フ趣意デゴザイマス、御審議ノ上、御協贊アラムコトヲ切望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

遠洋漁業獎勵法中改正法律案特別委員

- 伯爵 松平 賴壽君 服部 一三君 子爵 曾我 祐邦君
- 小松 謙次郎君 上山 滿之進君 男爵 伊藤 文吉君
- 村野常右衛門君 中村圓一郎君 小川 貞一君

○議長(公爵徳川家達君) 報告ヲ致サセマス

[長書記官朗讀]

本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

海上衝突豫防法中改正法律案

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

米穀法中改正法律案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 次會ハ來ル二十三日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後三時五十四分散會

